

## 書評 201808



### キリスト教と近代の迷宮

大澤 真幸、稲垣 久和 著

春秋社

現代思想の突端を走る社会学の鬼才と物理学出身のキリスト教哲学者の対談。近代社会や科学の成立とキリスト教の複雑な関係を読み解き、安倍政治や北朝鮮など、現在の問題の根底にある日本の歪な近代化への処方箋を提言する。

産経新聞 2018/08/04

2018:4./ 13p,327p

978-4-393-32374-8

本体 ¥2,000+税



### 宗教改革から明日へ～近代・民族の誕生とプロテスタンティズム～

ヨゼフ・ルクル・フロマートカ、平野 清美、佐藤 優 著

平凡社

現代の病理ナショナリズムの源泉はどこにあるのか？ 近代的な民族、国家誕生の契機となったプロテスタンティズムの本質に迫る。ヨゼフ・ルクル・フロマートカをはじめ、チェコを代表するプロテスタント神学者らによる論文集。

産経新聞 2018/08/04

2017:12./ 413p

978-4-582-71718-1

本体 ¥4,800+税



### マーケティングとは「組織革命」である。～個人も会社も劇的に成長する森岡メソッド～

森岡 毅 著

日経BP社

なぜ、日本企業はマーケティングを活かせないのか？ なぜ、あなたの提案は通らないのか？ 実戦経験を極めた著者が、成功のための「社内マーケ」術を伝授する。鈴木敏文、秋元康、佐藤章、佐藤可士和との対談も収録。

産経新聞 2018/08/04

2018:5./ 350p

978-4-8222-5795-8

本体 ¥1,600+税



### 赤い風

梶 よう子 著

文藝春秋

原野を2年で畑地にするよう命じた川越藩主・柳沢吉保。暗躍する“懐刀”荻生徂徠。その狙いは領民の生活を豊かにするためか、年貢を徴収するためか。身分をこえ、武士と農民が大開拓に挑む。『埼玉新聞』連載を加筆修正。

産経新聞 2018/08/05

2018:7./ 365p

978-4-16-390866-3

本体 ¥1,800+税



### マンザナの風にのせて(文研じゅべにーる)

ロイス・セパバーン、若林 千鶴、ひだか のり子 著

文研出版

1942年、アメリカ。ワシントン州で家族と幸せに暮らしていた日系アメリカ人のマナミの生活は、ある日一変する。家族で「強制立ち退き」しなければならなくなり…。アメリカ日系移民の強制収容を描いた物語。

産経新聞 2018/08/05

2018:6./ 189p

978-4-580-82335-8

本体 ¥1,500+税



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2018年7月時点での税抜価格です。



**カバー、おかけしますか?～本屋さんのブックカバー集～<2>**

中西 晴代 編  
出版ニュース社

書店で本を買うとかけてくれるカバー「書皮」をカラー写真で紹介。書皮友好協会が開催した 30 回の全国大会で選ばれた書皮大賞、地方賞、特別賞のほか、「手作り」「リボン」などのジャンル別に作品を収録する。

2018:4./ 153p  
978-4-7852-0164-7  
本体 ¥2,800+税



産経新聞 2018/08/05



**韓国・北朝鮮はこうなる!(WAC BUNKO B-280)**

呉 善花、加藤 達也 著  
ワック

米国に見捨てられ、北朝鮮に併呑されて、金王朝の支配化に置かれる韓国。脱南者(韓国からの難民)が日本や米国に押し寄せてくる可能性も…。そうさせないためには? 北東アジアの近未来をコリア・ウォッチャーが論じ尽くす。

2018:7./ 220p  
978-4-89831-780-8  
本体 ¥920+税



産経新聞 2018/08/05



**猫はしっぽでしゃべる**

田尻 久子 著  
ナナロク社

熊本の小さくて不便な本屋「橙書店」。看板猫と共に日々店に立ち、人と人、人と本とをつないできた店主が、本と猫と記憶について綴った、初めてのエッセイ集。『アルテリ』等掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2018:5./ 187p  
978-4-904292-80-8  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/08/05



**星夜航行<上巻>**

飯嶋 和一 著  
新潮社

三河の内乱の時、父が徳川家に弓を引いたため、逆臣の遺児として農村に逼塞していた沢瀬甚五郎。傑出したその才覚は家康家臣の知るところとなり、嫡男、徳川三郎信康の小姓衆に取り立てられるが…。『小説新潮』連載を書籍化。

2018:6./ 533p  
978-4-10-351941-6  
本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/08/05、朝日新聞 2018/08/18、日本経済新聞 2018/08/25



**星夜航行<下巻>**

飯嶋 和一 著  
新潮社

秀吉の明国と朝鮮への野望は誰にも止められない。小西行長ら秀吉吏僚の隠蔽工作は国と民を泥沼の地獄へと導く。沢瀬甚五郎も否応なく巻き込まれていき…。驚くべき朝鮮出兵の真実を描く。『小説新潮』連載を書籍化。

2018:6./ 572p  
978-4-10-351942-3  
本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/08/05、朝日新聞 2018/08/18、日本経済新聞 2018/08/25



**百年の女～『婦人公論』が見た大正、昭和、平成～**

酒井 順子 著  
中央公論新社

大正、昭和、平成と 3 つの世をまたいで、日本の女性達を導き、受け止め続けてきた雑誌『婦人公論』。その 100 年の歴史をひもとき、日本女性がいかに生きてきたかを振り返る。『婦人公論』連載にコラムを加筆し書籍化。

2018:6./ 414p  
978-4-12-005092-3  
本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/08/05、東京・中日新聞 2018/08/19



### こども小説教室～きみだけのオリジナル小説ができる!～

田丸 雅智 著  
キノブックス

ショートショート作家・田丸雅智が、読書や作文が苦手だった自身の経験をいかして、自分だけの物語を楽しく書く方法を、書き込み式のワークとともに解説する。又吉直樹との共同作品なども収録。

2018:7./ 79p  
978-4-909689-04-7  
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/08/05、読売新聞 2018/08/19



### ウiskonシン渾身日記

白井 青子 著  
幻冬舎

年齢 31 にして英語の海に飛び込んだ! アメリカのウiskonシン州マディソンで異文化と出会い、かけがえのない経験をした 2 年間の記録。ブログ『内田樹の研究室』掲載を加筆修正して書籍化。内田樹との往復書簡も収録。

2018:6./ 302p  
978-4-344-03313-9  
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/08/11



### 日本美人の七十二候

山下 景子 著  
PHPエディターズ・グループ

十五日ごとに季節を伝えてくれる二十四節気と、五日おきに訪れる七十二候。「春告鳥」「?の羽衣」「後れ菊」「初明り」といった季節のことばとともに、旧暦を暮らしに取り入れるヒントを紹介します。

2016:12./ 159p  
978-4-569-81261-8  
本体 ¥1,650+税



産経新聞 2018/08/11



### ペインレス<上>

天童 荒太 著  
新潮社

医師として診察したいんです。あなたのセックスを-。テロによって体の痛みを失った青年は、女性麻酔科医にとって舌なめずりするような実験台だった-。構想 20 年の長編小説。『新潮』連載に加筆訂正して単行本化。

2018:4./ 301p  
978-4-10-395703-4  
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/08/12



### ペインレス<下>

天童 荒太 著  
新潮社

心の痛みのない女性麻酔科医と、体の痛みを失った青年。そこに愛は生まれるのか? 進化の扉は開かれるのか? 倫理や常識を超え、今、DNA の壁が決壊する-。構想 20 年の長編小説。『新潮』連載に加筆訂正して単行本化。

2018:4./ 307p  
978-4-10-395704-1  
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/08/12



### 風に恋う

額賀 滯 著  
文藝春秋

かつては全国大会連続金賞だったが、現在は見る影もない名門高校吹奏楽部に、黄金時代の部長がコーチとして戻ってきた。そして 1 年生の基を部長に任命し...。はたして全国大会への切符を手にするにはできるのか!?

2018:7./ 310p  
978-4-16-390852-6  
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/08/12



### もう言っとかないと

中村 メイコ、古舘 伊知郎 著  
集英社インターナショナル

現在 84 歳、芸歴 82 年をむかえた中村メイコ。これまで秘してきたことから、戦争や芸能界、盟友たちのことまで、古舘伊知郎を聞き手に思いの丈を語りつくす。

産経新聞 2018/08/12

2018:6./ 207p  
978-4-7976-7349-4  
本体 ¥1,300+税



### 朝、目覚めると、戦争が始まっていた

方丈社編集部 編  
方丈社

昭和 16 年 12 月 8 日、太平洋戦争勃発。あの日、日本人は戦争をどう感じ、何を考えたのか? 鶴見俊輔、高見順、金子光晴など、当日の知識人・著名人の日記、回想録から偽らざる戦争の実感を甦らせる。太宰治の短編も収録。

産経新聞 2018/08/12、読売新聞 2018/08/26

2018:8./ 158p  
978-4-908925-34-4  
本体 ¥1,200+税



### 師弟〜棋士たち魂の伝承〜

野澤 亘伸 著  
光文社

観る将、やる将へ-この世界はどこまでも人間臭い! 都成竜馬と師匠・谷川浩司、藤井聡太と師匠・杉本昌隆ら全 6 組の師弟を完全取材。棋士が育つ過程を「師弟」の視点から描く。羽生善治永世七冠のインタビューも収録。

産経新聞 2018/08/18

2018:6./ 264p  
978-4-334-95027-9  
本体 ¥1,400+税



### ひるけ

阿部 了 著  
木楽舎

弁当をただ食べるだけ。その瞬間にこそ、見えてくるものがあつた。食べている人の暮らしや、家族の姿までを勝手に想像している自分がいた-。さまざまな人びとのお弁当を食べる姿を写し撮った写真集。

産経新聞 2018/08/18

2018:8./ 1 冊(ページ付なし)  
978-4-86324-126-8  
本体 ¥2,500+税



### 気がつけば動物学者三代

今泉 忠明 著  
講談社

ネズミやヘビやコウモリがウロチョロする家。哺乳類を捕まえるだけでなく、標本作りもマスターした小学生時代...。父も兄も息子も動物学者という著者が、生の動物エピソードとともに、動物学者になるまでの道のりを語る。

産経新聞 2018/08/19

2018:7./ 235p  
978-4-06-511909-9  
本体 ¥1,200+税



### 悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト〜パガニーニ伝〜(新潮新書 775)

浦久 俊彦 著  
新潮社

守銭奴、女好き、?神者。なれど、その音色は超絶無比-。19 世紀の「悪魔ブーム」をブランディングに用い、超絶技巧で人々を熱狂させた史上最強の演奏家ニコロ・パガニーニの、本邦初の伝記。

産経新聞 2018/08/19

2018:7./ 221p  
978-4-10-610775-7  
本体 ¥760+税





**藤田嗣治(フジタ)がわかれば絵画がわかる(NHK 出版新書 559)**

布施 英利 著  
NHK出版

1920年代のパリで一世を風靡し、日本人画家としてはじめて西洋で成功した藤田嗣治。没後50年を経た今、「鏡」「線」「色彩」という3つの視点からその作品世界を一望し、「絵画」という芸術表現の普遍の見方を導く。

2018:8./ 253p  
978-4-14-088559-8  
本体 ¥1,000+税



産経新聞 2018/08/19



**友を待つ**

本城 雅人 著  
東京創元社

伝説の週刊誌記者が、不法侵入と窃盗の容疑で逮捕された。取り調べ中に語った「友を待つ」という一言の真意とは。後輩記者たちは、10年前のある官僚との因縁に気づき…。『ミステリーズ!』連載を加筆し単行本化。

2018:7./ 331p  
978-4-488-02788-9  
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/08/19



**「自然」という幻想～多自然ガーデニングによる新しい自然保護～**

エマ・マリス、岸 由二、小宮 繁 著  
草思社

外来種を徹底的に駆除、手つかずの自然から人間を遠ざけ、人工物を撤去…それで本当に地球の自然が守れるのか。過去の自然保護のあり方を批判し、多様な現実的目標設定の下で自然を創り出す「多自然ガーデニング」を提案する。

2018:7./ 334p  
978-4-7942-2342-5  
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/08/19



**春風コンビお手柄帳～小沼丹未刊行少年少女小説集・推理篇～**

小沼 丹 著  
幻戯書房

小沼文学の新たな魅力を発見できる、未刊行少年少女小説集。中学生のユキコさんとシンスケ君が活躍する表題連作など、多彩な推理が冴え渡るミステリ作品を収録する。北村薫によるエッセイも掲載。

2018:7./ 268p  
978-4-86488-149-4  
本体 ¥2,800+税



産経新聞 2018/08/19



**100年人生の生き方死に方～百寿者からの伝言～**

久恒 啓一 著  
さくら舎

「60、70 湊垂れ小僧、男盛りは100から100から」平櫛田中をはじめ、渋沢栄一、宇野千代、日野原重明ら人生100年時代を生き切った先達81人が遺した箴言を紹介する。ブログをもとに書籍化。

2018:8./ 215p  
978-4-86581-159-9  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/08/19



**世界を変えた本**

マイケル・コリンズ、アレキサンドラ・ブラック、トマス・カッサンス、ジョン・ファーンドン、フィリップ・パーカー、樺山 紘一、藤村 奈緒美 著  
エクスナレッジ

死者の書、兵法、源氏物語、君主論、一般相対性理論、星の王子さま…。人類史に刻まれた名著を美しいビジュアルで解説。内容だけでなく装丁やデザインなど、<物>としての面にも焦点を当てながら、壮大な知の遺産をたどる。

2018:6./ 256p  
978-4-7678-2394-2  
本体 ¥3,800+税



産経新聞 2018/08/19、朝日新聞 2018/08/25



### 水の匂いがあるようだ〜井伏鱒二のほうへ〜

野崎 敏 著  
集英社

太宰治が「勉強しただけでは、谷崎潤一郎にはなれるけれども、井伏鱒二にはなれない」と評した作家の魅力とは。「井伏文学の面白さここにあり」というポイントを、心ゆくめぐる一冊。『すばる』掲載を単行本化。

2018:8./ 283p  
978-4-08-771149-3  
本体 ¥2,200+税



産経新聞 2018/08/25



### 焦土の刑事

堂場 瞬一 著  
講談社

1945年東京大空襲の日、防空壕で女性の遺体が発見される。首には刃物による切り傷が。犯罪として捜査を進める京橋署刑事の高峰だが、署長から「空襲の被害者だ」と言われる。殺人事件のもみ消し、そしてまた殺人が起き…。

2018:7./ 368p  
978-4-06-512152-8  
本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/08/26



### 石垣の名城完全ガイド(The New Fifties)

千田 嘉博 著  
講談社

巨石を多用した天下人の城「江戸城」、最初期の石垣が見られる「観音寺城」…。日本の城の石垣に注目し、代表的な石垣の城や、その見方などを紹介。石垣の構造の最新の調査方法や研究成果も、写真や図と共に掲載する。

2018:8./ 139p  
978-4-06-512617-2  
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/08/26



### IKIGAI〜日本人だけの長く幸せな人生を送る秘訣〜

茂木 健一郎、恩蔵 絢子 著  
新潮社

日本には、効率や利潤の追求とは異なる幸福な生き方があった。ミシュラン三つ星の寿司職人からコミケ来場者まで、脳科学者がその人生観を分析し、世界が注目する長寿の秘密「生きがい」の本質を探る。

2018:5./ 189p  
978-4-10-470204-6  
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/08/26



### 政策至上主義(新潮新書 773)

石破 茂 著  
新潮社

自立精神旺盛で、かつ持続的な発展を遂げられる国をつくる政策とは何か。政治家はどう国民と向き合い、それを語るべきなのか。ひたすら政策を磨き続けてきた政治家からの熱きメッセージ。

2018:7./ 215p  
978-4-10-610773-3  
本体 ¥760+税



産経新聞 2018/08/26



### 村上春樹語辞典〜村上春樹にまつわる言葉をイラストと豆知識でやれやれと読み解く〜

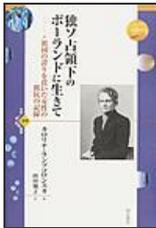
ナカムラ クニオ、道前 宏子 著  
誠文堂新光社

村上春樹にまつわる「作品」「登場人物」「キーワード」「関連作家」などの言葉を、50音順に配列し、イラストを添えて読み解く。用語解説だけでは説明しきれないことは、コラムにまとめて収録する。おさんぽ MAP 付き。

2018:7./ 191p  
978-4-416-61853-0  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/08/26



**独ソ占領下のポーランドに生きて～祖国の誇りを貫いた女性の抵抗の記録～(世界人権問題叢書 99)**

カロリナ・ランツコロンスカ 著

明石書店

1939年の戦争勃発とソ連軍による占領。美術史の助教授資格を得るが、志願看護師、中央救護委員会の職員となり逮捕され…。祖国ポーランドと学問に生涯を捧げた著者が、開戦で一変した自らの生活や人々の姿を克明に記す。

2018:3./ 453p  
978-4-7503-4655-7

本体 ¥5,500+税



産経新聞 2018/08/26



**テントウムシハンドブック**

阪本 優介 著

文一総合出版

日本で見られる約 180 種のテントウムシのうち 115 種を取り上げ、亜科名と族名、和名と学名、分布、大きさ等を紹介する。実物大写真や幼虫の写真、見つけ方のポイントなども掲載。

2018:7./ 88p

978-4-8299-8158-0

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/08/26



**硯の中の地球を歩く**

青柳 貴史 著

左右社

石は 1 億年経っていないとまだまだ若造? ごぼうの味がする石がある? 硯もいじける? 製硯師は一夫多妻制? 世界一墨が磨れる石を探しに、命がけで中国の秘境を訪ねる製硯師が、ワイルドでワンダーなその仕事を語る。

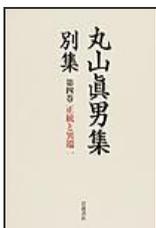
2018:7./ 157p

978-4-86528-203-0

本体 ¥1,650+税



産経新聞 2018/08/26



**丸山眞男集別集<第4巻> 正統と異端**

丸山 眞男、東京女子大学丸山眞男文庫 編

丸山 眞男 著

岩波書店

「丸山眞男集」に収録されなかった丸山眞男の論文・未定稿・講演記録を年代順に編集。第 4 巻は、「正統と異端」に関する比較研究史をめぐる、丸山眞男を中心に行われた研究会の記録を収める。

2018:6./ 11p,468p

978-4-00-092804-5

本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2018/08/04



**男女平等はどこまで進んだか～女性差別撤廃条約から考える～(岩波ジュニア新書 874)**

山下 泰子、矢澤 澄子、国際女性の地位協会 編

山下 泰子、矢澤 澄子 著

岩波書店

女性差別撤廃条約と、条約を基にした男女平等の国際基準の展開について、身近なテーマやトピックスを切り口に紹介。ホットな課題を取り上げながら、条約の関連する条文の内容をやさしく解説する。条約対訳等も掲載。

2018:6./

11p,184p,55p

978-4-00-500874-2

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/08/04



**久野収セレクション(岩波現代文庫 学術 239)**

久野 収、佐高 信 著  
岩波書店

久野収はアカデミズムにこもる哲学者ではなく、平和問題談話会、ベ平連、『週刊金曜日』などを通じて、市民の先頭に立って活動を続けてきた。久野に私淑した佐高が、長く読み継がれるべき珠玉の論考 16 篇を厳選した文庫オリジナル編集版。

2010:5./ 348p,3p  
978-4-00-600239-8  
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/08/04



**デイス・イズ・ザ・デイ**

津村 記久子 著  
朝日新聞出版

ファンたちはそれぞれの思いを抱いて最後の試合の「その日」に向かう。人間関係に悩む会社員、再会した祖母と孫... 普通の人々のかけがえのない喜びを、サッカーを通して鮮やかに描き出す連作短編集。『朝日新聞』連載に加筆。

2018:6./ 366p  
978-4-02-251548-3  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/08/04



**よみがえる戦時体制～治安体制の歴史と現在～(集英社新書 0935)**

荻野 富士夫 著  
集英社

国家の暴力装置たる警備公安警察等の権力の恣意的な運用を抑止、是正するために必要なのは何か。戦前の治安維持法、特高警察など治安体制の専門家が、戦時体制の歴史をふまえて現状を分析する。

2018:6./ 270p  
978-4-08-721035-4  
本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/08/04



**月の砂漠をさばさばと(新潮文庫)**

北村 薫、おーなり 由子 著  
新潮社

朝日新聞 2018/08/04

2002:6./ 173p  
978-4-10-137327-0  
本体 ¥590+税



**あこがれ(新潮文庫 か-64-3)**

川上 未映子 著  
新潮社

やんちゃ娘のヘガティーと、絵が得意でやせっぽちの麦くんは、最強の友だちコンビ。麦くんをくぎ付けにした女の人や、ヘガティーが偶然知ったもうひとりのきょうだい...。互いのあこがれを支えあい、大人への扉をさがす物語。

2018:7./ 286p  
978-4-10-138863-2  
本体 ¥520+税



朝日新聞 2018/08/04



**日本語を翻訳すること～失われるもの、残るもの～(中公新書 2493)**

牧野 成一 著  
中央公論新社

擬音・擬態語、「雨ニモ負ケズ」のような漢字カタカナ交じりの表記、「顔が能面のように」といった比喩など、翻訳困難な日本語表現を紹介。柿本人麻呂から松尾芭蕉、夏目漱石、村上春樹まで登場する、海を越えた日本語論。

2018:6./ 2p,190p  
978-4-12-102493-0  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/08/04



**あの家に暮らす四人の女(中公文庫 み 51-1)**

三浦 しをん 著  
中央公論新社

謎の老人の活躍としくじり。スーカー男の闖入。いつしか重なりあう、生者と死者の声-古びた洋館に住む女四人の日常は、今日も豊かでかしましい。ざんねんな女たちの、現代版「細雪」。

朝日新聞 2018/08/04

2018:6./ 341p  
978-4-12-206601-4  
本体 ¥680+税



**新薬の狩人たち～成功率 0.1%の探求～**

ドナルド・R.キルシュ、オギ・オーガス、寺町 朋子 著  
早川書房

人類はありとあらゆる手段を駆使して新薬をつくりだしてきた! 先人たちのあくなき挑戦の歴史とともに、さまざまな薬の開発秘話、ドラッグハンター(新薬研究者)の今後などについてつづる。佐藤健太郎の解説も収録。

朝日新聞 2018/08/04

2018:6./ 318p  
978-4-15-209772-9  
本体 ¥2,000+税



**約束された場所で～underground 2～(文春文庫)**

村上 春樹 著  
文芸春秋

朝日新聞 2018/08/04

2001:7./ 332p  
978-4-16-750204-1  
本体 ¥590+税



**消滅世界(河出文庫 む 4-1)**

村田 沙耶香 著  
河出書房新社

人工授精で子を産むことが定着した世界。「両親が愛し合った末」に生まれた雨音は母に嫌悪感を抱いていた。雨音は清潔な結婚生活を送り、夫以外のヒトやキャラと恋愛を重ねる日々を送るが、それは移住した実験都市で一変し…。

朝日新聞 2018/08/04

2018:7./ 283p  
978-4-309-41621-2  
本体 ¥630+税



**石牟礼道子～さよなら、不知火海の言魂～(KAWADE 夢ムック)**

河出書房新社

近代の最暗部から、魂の救済へと言葉を紡いだ作家・石牟礼道子。藤原新也、志村ふくみらのエッセイや、いとうせいこう×若松英輔の対談などから、その生涯と作品の豊かな魅力に迫る。主要作品読書ガイドも収録。

朝日新聞 2018/08/04

2018:5./ 223p  
978-4-309-97941-0  
本体 ¥1,300+税



**ディズニー、NASA が認めた遊ぶ鉄工所**

山本 昌作 著  
ダイヤモンド社

日本最強のクリエイティブ集団が京都の町工場にあった! “非常識な経営手法”で売上、社員数、取引社数すべて右肩上がりの「HILLTOP 株式会社」の副社長が、「ヒルトップ・システム」の秘密や社員の育て方を綴る。

朝日新聞 2018/08/04

2018:7./ 227p  
978-4-478-10371-5  
本体 ¥1,500+税





**持続可能な医療～超高齢化時代の科学・公共性・死生観～(ちくま新書 1333-1)**

広井 良典 著  
筑摩書房

高齢化の急速な進展の中で、日本の医療費はすでに年間四十数兆円を超え、さらに着実に増加している。「破綻」は回避できるのか? 持続可能な医療そして社会を構想するための思想と道筋を、明快かつトータルに示す。

2018:6./ 251p  
978-4-480-07147-7  
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/08/04



**くろちゃんとツマと私**

南 伸坊 著  
東京書籍

くろちゃんがコワがるもの、無塩生活、はじめての肛門科、うちのガジュマル、水丸さんの絵…。のんびりのんき、なんでもないふつうの日々の、ちょっと笑っちゃったあれこれを綴る。『日本橋』ほか掲載を単行本化。

2018:6./ 222p  
978-4-487-81118-2  
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/08/04



**ロダンを魅了した幻の大女優マダム・ハナコ**

大野 芳 著  
求龍堂

明治時代、恋にやぶれて日本を旅立ったハナコは、女優となって欧米 18 か国を巡業し、一大センセーションを巻き起こす。その評判は巨匠ロダンの耳にも入り…。ロダンのモデルになった唯一の日本人女性の波乱の人生を追う。

2018:6./ 286p  
978-4-7630-1810-6  
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/08/04



**あなた自身の社会～スウェーデンの中学教科書～**

アーネ・リンドクヴィスト、ヤン・ウェステル 著  
新評論

スウェーデンの中学 2 年生が社会とは何かを学ぶための教科書。法的権利と義務、消費者としての基礎知識、コミュニケーションの行政と住民の役割、社会保障制度を豊富で生き生きとしたエピソードで平明に解説。

1997:6./ 212p  
978-4-7948-0291-0  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/08/04



**魔法はつづく～短篇集～(リイドカフェコミックス)**

オガツ カズオ 著  
リイド社

ホラーマンガ界最大の切り札、オガツカズオが紡ぐ珠玉の怪異幻想譚。狂ってしまったのは貴方?それとも。

2018:7./ 228p  
978-4-8458-5195-9  
本体 ¥1,296+税



朝日新聞 2018/08/04



**子どもの貧困～未来へつなぐためにできること～**

渡辺 由美子 著  
水曜社

一見それとはわからない子どもの貧困。NPO 法人キッズドア理事長が、貧困状態の子どもや保護者の様子を紹介しつつ、子どもの貧困問題を社会問題と関連づけて考察し、問題解決のために何ができるのかを示す。

2018:5./ 181p  
978-4-88065-439-3  
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/08/04



**秘蔵写真 200 枚でたどるアジア・太平洋戦争～東方社が写した日本と大東亜共栄圏～**

井上 祐子 著  
みずき書林

戦時下の日本とはどういう場だったのか。陸軍参謀本部傘下の写真工房<東方社>のカメラマンが、戦時期に国内および海外で撮影した写真を中心に、アジア・太平洋戦争と戦時期の内外の社会を振り返る。

朝日新聞 2018/08/04

2018:7./ 230p  
978-4-909710-03-1  
本体 ¥3,400+税



**送り火**

高橋 弘希 著  
文藝春秋

東京から山間の町に引越した中学 3 年生の歩。級友とも、うまくやってきたはずだった。あの夏、河へ火を流す日までは…。自然は沈黙し、少年たちは血の遊戯に熱狂する!『文學界』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/08/04、産経新聞 2018/08/05、読売新聞 2018/08/19、日本経済新聞 2018/08/25

2018:7./ 120p  
978-4-16-390873-1  
本体 ¥1,400+税



**ドローンの哲学～遠隔テクノロジーと<無人化>する戦争～**

グレゴワール・シャマユー、渡名喜 庸哲 著  
明石書店

ドローンはどこから来たのか。それは技術的、戦術的にどのような系譜をもっているのか。さらにそこからどのような根本的な定義づけができるのか。軍用ドローンに対して、さまざまな観点から哲学的に考察する。

朝日新聞 2018/08/04、読売新聞 2018/08/05

2018:7./ 349p  
978-4-7503-4692-2  
本体 ¥2,400+税



**空想映画地図<シネマップ>～名作の世界をめぐる冒険～**

アンドリュー・デグラフ、A.D.ジェイムソン、吉田 俊太郎 著  
フィルムアート社

「ジョーズ」「インディ・ジョーンズ」「スター・ウォーズ」など、名作映画の世界を遊び尽くす映画ガイド&ヴィジュアルブック。登場人物たちの動線を描いた地図とともに、作品をポップに解説する。

朝日新聞 2018/08/04、読売新聞 2018/08/12

2018:6./ 231p  
978-4-8459-1800-3  
本体 ¥3,200+税



**金持ち課税～税の公正をめぐる経済史～**

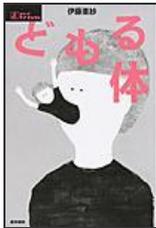
ケネス・シーヴ、デイヴィッド・スタサヴェージ、立木 勝 著  
みずき書房

国はいつ、なぜ富裕層に課税するのか。世界的に不平等が拡大するなかで、税による解決は可能なのか? 富裕層課税の長い歴史をさかのぼり、それらが現在の状況について何を教えてくれるかを示す。

朝日新聞 2018/08/04、日本経済新聞 2018/08/04

2018:6./  
11p,241p,57p  
978-4-622-08701-4  
本体 ¥3,700+税





**どもる体(シリーズケアをひらく)**

伊藤 亜紗 著  
医学書院

「どもる」という身体的経験にフォーカスを当て、どもるとき、当事者のなかで何が起き、それとどのように付き合っているのか、インタビュー調査で明らかにする。『看護教育』連載をもとに書籍化。

2018.5./ 255p  
978-4-260-03636-8

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/08/04、日本経済新聞 2018/08/18



**こないだ**

山田 稔 著  
編集工房ノア

楽しかった「こないだ」、50 年も前の「こないだ」について、時間を共にした、あの人この人について書き綴る。雑誌や冊子などに発表した文章のうち、単行本未収録のものに新作を加えて書籍化。

2018.6./ 285p

978-4-89271-292-0

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/08/04、毎日新聞 2018/08/12



**学芸諸家～浜谷浩写真集～**

浜谷浩 著  
岩波書店

この半世紀、世は激動の時代でした。学問芸術の急進激変、芸術の変転分離、あれよあれよと移り変わりました。そうした時世にあつて、自己の道を掘り進んでこられた学芸諸家には、自ずからなる面貌姿勢があります。

1993.11./ 120p

978-4-00-000300-1

本体 ¥6,408+税



朝日新聞 2018/08/11



**塩原多助一代記(岩波文庫 緑 3-3)**

三遊亭円朝 著  
岩波書店

円朝はこの話を作る時、塩原多助の遺跡のある群馬県までわざわざ実地に山越しするなどして苦心を重ねたといわれる。歌舞伎上演はもちろん、明治帝の御前口演、小学校の教科書採用など多くの逸話も残っている。

1957.6./ 250p

978-4-00-310033-2

本体 ¥660+税



朝日新聞 2018/08/11



**三四郎 改版(岩波文庫 緑 10-6)**

夏目 漱石 著  
岩波書店

筋書だけをとり出せば『三四郎』は一見何の変哲もない教養小説と見えるが、卓越した小説の戦略家漱石は一筋縄では行かぬ小説的企みを実はたつぷりと仕掛けているのだ。

1990.4./ 325p

978-4-00-310106-3

本体 ¥500+税



朝日新聞 2018/08/11



**福翁自伝 新訂改版(岩波文庫 33-102-2)**

福沢諭吉、富田正文 著  
岩波書店

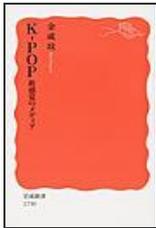
朝日新聞 2018/08/11

1978.10./ 424p

978-4-00-331022-9

本体 ¥1,070+税





**K-POP~新感覚のメディア~(岩波新書 新赤版 1730)**

金 成? 著  
岩波書店

東方神起、BTS(防弾少年団)、TWICE、EXO…。日本のみならず、世界をも魅了するK-POPの魅力とは何なのか。グローバルなトレンドとポップな欲望が交錯するソーシャルメディア時代の音楽空間を解き明かす。

2018:7./ 14p,219p  
978-4-00-431730-2

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/08/11



**三遊亭圓朝の明治(朝日文庫 や 31-1)**

矢野 誠一 著  
朝日新聞出版

江戸の粋を愛した「落語の神様」が、文明開化を生き残るために選び取った手段とは。日本の大転換期に翻弄されつつも、したたかに生き抜いた名人の栄光と屈折を描く本格評伝。

2012:8./ 247p

978-4-02-261736-1

本体 ¥620+税



朝日新聞 2018/08/11



**真景累ヶ淵(角川ソフィア文庫 F122-1)**

三遊亭 円朝 著  
KADOKAWA

根津の鍼医・宗悦が貸金の催促から旗本の深見新左衛門に殺された。新左衛門は宗悦の霊と誤り妻を殺害し、非業の死を遂げ家は改易。これが因果の始まりだった…。明治芸界に落語の黄金時代をなした三遊亭円朝の傑作怪談斬。

2018:6./ 468p

978-4-04-400343-2

本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/08/11



**むかしこっぴり(BEAM COMIX)**

おくやま ゆか 著  
KADOKAWA

気鋭の女流作家が、周囲の人々に取材した「今の昔」のお話を心を込めて描く、身近で遙か遠く、伸びやかで、温かな現代綺譚集。

2018:7./ 179p

978-4-04-735252-0

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/08/11



**演劇入門(講談社現代新書)**

平田 オリザ 著  
講談社

朝日新聞 2018/08/11

1998:10./ 206p

978-4-06-149422-0

本体 ¥740+税



**水中翼船炎上中**

穂村 弘 著  
講談社

全員がアトムとウランの髪型の入学式よ光るはなびら 真夜中のスマートフォンに囁いている基地からの距離を知るため 子ども時代、昭和の終焉、母の死、そして現在…。328首を収めた17年ぶり、4冊目の個人歌集。

2018:5./ 202p

978-4-06-221056-0

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/08/11



**龍にたずねよ**

みなと 董 著

講談社

戦国時代、青海の国の八姫は人質として、龍の伝説がある萩生に送られるが、ある日、萩生が大国から急襲されてしまう。密書を届けるため、そして戦によって荒れゆく山を守るため、姫と、不思議な力を持った少年が立ち上がる。

朝日新聞 2018/08/11

2018:7./ 238p

978-4-06-511972-3

本体 ¥1,200+税



**はじめての経済思想史～アダム・スミスから現代まで～(講談社現代新書 2482)**

中村 隆之 著

講談社

よいお金儲けを促進し、悪いお金儲けを抑制する、それが経済学の本質である。スミス、ミル、ケインズ、マルクス、ハイエク、フリードマンらを取り上げ、「所有者が主役から降りていく」という経済思想史の流れを解説する。

朝日新聞 2018/08/11

2018:6./ 224p

978-4-06-512227-3

本体 ¥840+税



**がいなもん 松浦武四郎一代**

河治 和香 著

小学館

蝦夷地を 6 回にわたって踏破し、多数のアイヌの地名を記録。吉田松陰らの蝦夷地アドバイザーを務め、古稀記念に富士登山! 傑物にして奇人、“北海道の名付け親”松浦武四郎の生涯を描く。『きさら』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/08/11

2018:6./ 317p

978-4-09-386510-4

本体 ¥1,700+税



**浮雲 改版(新潮文庫)**

二葉亭 四迷 著

新潮社

朝日新聞 2018/08/11

1997:4./ 269p

978-4-10-101403-6

本体 ¥430+税



**逃げられない世代～日本型「先送り」システムの限界～(新潮新書 771)**

宇佐美 典也 著

新潮社

2036 年。あらゆる問題を「先送り」してきた日本に限界が来る。年金、保険などの社会保障はもとより、安全保障に至るまで、国家システムの破綻は回避できるのか。危機の本質を政官のメカニズムに精通した著者が論じる。

朝日新聞 2018/08/11

2018:6./ 253p

978-4-10-610771-9

本体 ¥800+税



**老後の資金がありません(中公文庫 か 86-1)**

垣谷 美雨 著

中央公論新社

娘の派手婚、舅の葬式代と姑の生活費、そして夫婦揃っての失職…。「老後は安泰」のはずだったのに、1200 万円の老後資金はみるみる減ってゆく。家族の諸事情に振り回されつつもやりくりする篤子の奮闘は報われるのか?

朝日新聞 2018/08/11

2018:3./ 317p

978-4-12-206557-4

本体 ¥640+税



**戦争めし(ヤングチャンピオンコミックス)**

魚乃目 三太 著  
秋田書店  
朝日新聞 2018/08/11

2015.8./ 158p  
978-4-253-14320-2  
本体 ¥600+税

**神様の住所**

九螺 ささら 著  
朝日出版社

さびしくて一個は二個になりましたそして細胞は孤独を失う テーマに応じた短歌を冒頭にして、その短歌についての解説とも読めるような散文、そして最後にまた短歌、という構成で 84 項目収録した革新短歌集。

2018.6./ 271p  
978-4-255-01051-9  
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/08/11

**選んだ孤独はよい孤独**

山内 マリコ 著  
河出書房新社

地元から出ないアラサー、女子が怖い高校生、仕事ができないあの先輩…。情けなくも愛すべき男たちの「孤独」でつながる 19 の物語を収録。『文藝』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018.5./ 173p  
978-4-309-02685-5  
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/08/11

**舞踏会へ向かう三人の農夫<上>(河出文庫 ハ10-1)**

リチャード・パワーズ、柴田 元幸 著  
河出書房新社

それは 1914 年のうららかな春、プロイセンで撮られた一枚の写真から時空を超えてはじまった。アメリカ、戦争と死、陰謀と謎。百科全書的な知識で 20 世紀全体を描いた、現代アメリカ文学最重要作家のデビュー作。

2018.7./ 321p  
978-4-309-46475-6  
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/08/11

**舞踏会へ向かう三人の農夫<下>(河出文庫 ハ10-2)**

リチャード・パワーズ、柴田 元幸 著  
河出書房新社

それは 1914 年のうららかな春、プロイセンで撮られた一枚の写真から時空を超えてはじまった。アメリカ、戦争と死、陰謀と謎。百科全書的な知識で 20 世紀全体を描いた、現代アメリカ文学最重要作家のデビュー作。

2018.7./ 316p  
978-4-309-46476-3  
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/08/11

**アフリカの日々(河出文庫 テ9-1)**

イサク・ディネセン、横山 貞子 著  
河出書房新社

風と合体し、土地の匂いに同化したものだけが、ここでは生きていられる。アフリカの大地、動物、人間との豊かな交歓を綴った、デンマーク女性による紀行文学。

2018.8./ 526p  
978-4-309-46477-0  
本体 ¥1,450+税



朝日新聞 2018/08/11



### 世界植物探検の歴史～地球を駆けたプラント・ハンターたち～

キャロリン・フライ、甲斐 理恵子 著

原書房

「植物」はいかに発見・採集され、新しい土地に根付くようになったのか、そして人間の生活をどう変えたか。「プラント・ハンター」の活躍と植物探検の歴史を英国キュー王立植物園所蔵の美しい図版と共に解説する。

2018:7./ 161p

978-4-562-05582-1

本体 ¥3,200+税



\* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 5 8 2 1 \*

朝日新聞 2018/08/11



### 日本推理作家協会賞受賞作全集<49> 乱歩と東京(双葉文庫)

松山 巖 著

双葉社

朝日新聞 2018/08/11

1999:11./ 298p

978-4-575-65848-4

本体 ¥571+税



\* 9 7 8 4 5 7 5 6 5 8 4 8 4 \*



### ペリリュー～楽園のゲルニカ～<1>(YOUNG ANIMAL COMICS)

武田 一義、平塚 柁緒 著

白泉社

昭和 19 年、夏。祖国から遠く離れた小さな島で、彼らは何のために戦い、何を思い生きたのか——!『戦争』の時代に生きた若者の長く忘れ去られた真実の記録! 2016 年 7 月刊。

2016:8./ 160p

978-4-592-14187-7

本体 ¥600+税



\* 9 7 8 4 5 9 2 1 4 1 8 7 7 \*

朝日新聞 2018/08/11



### あなたを支配し、社会を破壊する、AI・ビッグデータの罠

キャシー・オニール、久保 尚子 著

合同出版

AI・ビッグデータの仕組みや活用法そのものの中に、人生や社会を狂わせ、壊すようなリスクが潜んでいる。データビジネスの現場を熟知するデータサイエンティストが、具体例をあげながら実情を解説する。

2018:6./ 333p

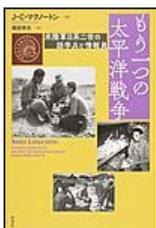
978-4-7726-9560-2

本体 ¥1,850+税



\* 9 7 8 4 7 7 2 6 9 5 6 0 2 \*

朝日新聞 2018/08/11



### もう一つの太平洋戦争～米陸軍日系二世の語学兵と情報員～

J.C.マクノートン、森田 幸夫 著

彩流社

対日戦のために作られた米陸軍の日本語学校を卒業し、戦場で通訳・押収文書翻訳・情報員として活動した日系アメリカ人二世の軍人たち。国家機密として抑えられてきた彼らの記録をまとめた、日米戦争の“知られざる”通史。

2018:7./ 628p

978-4-7791-2504-1

本体 ¥7,400+税



\* 9 7 8 4 7 7 9 1 2 5 0 4 1 \*

朝日新聞 2018/08/11



### エンジェル投資家～リスクを大胆に取り巨額のリターンを得る人は何を見抜くのか～

ジェイソン・カラカニス、滑川 海彦、高橋 信夫 著

日経BP社

創業者が絶体絶命になった時、天使よろしく窮地から救い出す「エンジェル投資家」。ハイリスクでも死なない方法、ユニコーン・デカコーンの見つけ方、信頼できる創業者の見極め方などを、驚異的な実績を残した著者が解説する。

2018:7./ 365p

978-4-8222-5572-5

本体 ¥1,800+税



\* 9 7 8 4 8 2 2 2 5 5 7 2 5 \*

朝日新聞 2018/08/11



### ヴェネツィアの出版人

ハビエル・アスペイティア、八重樫 克彦、八重樫 由貴子 著  
作品社

活版印刷発明後のルネサンス期、イタリック体を創出し、持ち運び可能な小型の書籍を開発し、初めて書籍にノンブルを付与した改革者、アルド・マヌツィオ。“最初の出版人”である彼の生涯を描いた長篇小説。

2018.5./ 370p  
978-4-86182-700-6  
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/08/11



### マン・レイ～軽さの方程式～

木水 千里 著  
三元社

現代美術の問題を先鋭的に体現する芸術家マン・レイ。彼の一般的な知名度と学術的な場の認識のギャップはいかに引き起こされたのか、そのメカニズムを解明。彼が芸術家として軽んじられている原因を学術的に明らかにする。

2018.6./ 327p,54p  
978-4-88303-459-8  
本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2018/08/11



### 本を読む。～松山巖書評集～

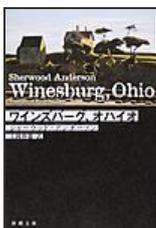
松山 巖 著  
西田書店

松山巖が 30 年以上の間に、心を動かされた本を選び、論じる。1983 年?2016 年に『読売新聞』『毎日新聞』『朝日新聞』及び雑誌に寄せた書評を集成。

2018.6./ 881p,13p  
978-4-88866-625-1  
本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2018/08/11



### ワインズバーグ、オハイオ(新潮文庫 ア-27-1)

シャーウッド・アンダーソン 著  
新潮社

発展から取り残された町オハイオ州ワインズバーグ。地元紙の若き記者ジョージのもとには、住人の奇妙な噂話が次々と寄せられる。ジョージはこのまま町に居続けることに疑問をもち…。モダニズム文学への道を拓いた先駆的傑作。

2018.7./ 349p  
978-4-10-220151-0  
本体 ¥590+税



朝日新聞 2018/08/11、読売新聞 2018/08/12



### モラルの話

J.M.クッツェー、くぼた のぞみ 著  
人文書院

ノーベル賞作家が、「人間のモラル」の底を描いた 7 つの物語。読みすすめるうちに、欲望、ジェンダー、美、生命、加齢、死などの個別テーマが鎖のように絡まり響き合い、全体をつらぬく思想がじわりと浮かび上がる。

2018.5./ 157p  
978-4-409-13040-7  
本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/08/11、日本経済新聞 2018/08/11



### 異世界語入門～転生したけど日本語が通じなかった～

Fafs F.Sashimi 著  
KADOKAWA

異世界に転移した八ヶ崎翠。そこは日本語が通じない世界で、しかも戦時下にあった。語学の知見を総動員して異世界語を学ぶ翠は、言葉を使いこなしてハーレムを作ることができるのか? 小説サイト『カクヨム』連載を書籍化。

2018.7./ 283p  
978-4-04-069729-1  
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/08/12



### 生き残り

古処 誠二 著  
KADOKAWA

イラワジ河で敵機に襲われ中州に籠城中、次々と命を落とす兵隊。いったい中州で何があったのか？ 息もできない閉塞感と驚天動地の展開の中で、人間存在のままならなさ鋭く突いた戦場ミステリ。

朝日新聞 2018/08/12

2018:7./ 202p  
978-4-04-107107-6  
本体 ¥1,600+税



### 神に守られた島

中脇 初枝 著  
講談社

沖縄のすぐそばにある沖永良部島。大戦末期、米軍機による激しい攻撃を受けるが、島の子どもたちはいきいきと過ごしていた。そんなある日、島に特攻機が不時着するという事件が起き…。『小説現代』連載を大幅に加筆修正。

朝日新聞 2018/08/12

2018:7./ 231p  
978-4-06-512205-1  
本体 ¥1,400+税



### さらば、シェヘラザード(DALKEY ARCHIVE)

ドナルド・E.ウエストレイク 著  
国書刊行会

ポルノ小説のゴーストライター、エド・トップリスの苦悩は、締切が近づいてもまったく書けないこと。ある日、書きかけの原稿が原因で思いもよらないトラブルに巻き込まれ…。巨匠ウエストレイクによる爆笑の半自伝的実験小説。

朝日新聞 2018/08/12

2018:6./ 327p  
978-4-336-06060-0  
本体 ¥2,400+税



### アンネ・フランクに会いに行く(岩波ジュニア新書 879)

谷口 長世 著  
岩波書店

ネオ・ナチの台頭、テロ事件の頻発、ロシアの軍事力の増強など、第二次大戦前夜に似た不穏な雰囲気が漂う現在。ナチ収容所で 15 年の短い生涯を終えたアンネ・フランクの足跡を追う旅を通して、平和の意味を考える。

朝日新聞 2018/08/18

2018:7./ 12p,241p  
978-4-00-500879-7  
本体 ¥900+税



### テレビ最終戦争～世界のメディア界で何が起きているか～(朝日新書 676)

大原 通郎 著  
朝日新聞出版

アメリカの IT 企業が日本の放送業界を支配する! 「メディアの王様」テレビの運命は? デジタル化とネットワーク化が進んだ近年のメディア動向を追いながら、新たなテレビの展望を示す。

朝日新聞 2018/08/18

2018:7./ 235p  
978-4-02-273769-4  
本体 ¥810+税



### 人殺しの息子と呼ばれて

張江 泰之 著  
KADOKAWA

凄絶ゆえに当時報道も控えられた「北九州連続監禁殺人事件」。その犯人の息子が、25 年の凄絶人生を語る。テレビ番組「ザ・ノンフィクション」の内容に、後見人への取材などを追加し単行本化。

朝日新聞 2018/08/18

2018:7./ 219p  
978-4-04-106734-5  
本体 ¥1,500+税



**本土空襲全記録(NHK スペシャル)**NHK スペシャル取材班 著  
KADOKAWA

2万ページに及ぶアメリカ軍の戦闘報告書・作戦記録を日本地図に落とし込むと、浮かび上がったのは予想をはるかに上回る被害の実態だった…。太平洋戦争における本土空襲の全体像に迫る。NHK スペシャルをもとに書籍化。

2018.8./ 157p  
978-4-04-106736-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/08/18

**自伝的女流文壇史(講談社文芸文庫 よJ2)**吉屋 信子 著  
講談社

十代の終わりに上京して文壇へと飛び込んだ吉屋信子。人望あつく昭和初期の女流文学者会を牽引してきた著者が、強く心に残った先達、同輩の文学者たちの在りし日の面影を直截にして真情こまやかに書き綴った貴重な時代の記録。

2016.11./ 260p

978-4-06-290329-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/08/18

**雇用、利子、お金の一般理論(講談社学術文庫 2100)**ジョン・メイナード・ケインズ 著  
講談社

世界的不況のなか、ケインズが、自らも通暁する古典派経済学の誤謬と限界を徹底的に見据え著した、現代経済学の基礎となる書。現実世界と向き合い、理論をラディカルに更新する、社会科学という営みの理想形。

2012.3./ 572p

978-4-06-292100-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/08/18

**ゆりあ先生の赤い糸<1>(Be・Love KC)**入江 喜和 著  
講談社

かつて姉の影響でパレエをやっていた伊沢ゆりあ 50歳。現在は手芸教室の先生として地味ながらも幸せに暮らしている。そんなある日、物書きの旦那が渋谷のホテルで昏倒し、救急車で緊急搬送される。

2018.7./ 160p

978-4-06-512248-8

本体 ¥440+税



朝日新聞 2018/08/18

**抱擁この世でいちばん冴えたやりかた(小学館文庫 つ11-1)**辻原 登 著  
小学館

二・二六事件の翌年、東京駒場の前田侯爵邸で起こる謎に満ちた事件を描く「抱擁」をはじめ、中国と日本を舞台にした奇譚「約束よ」「かみにさわった男」「この世でいちばん冴えたやりかた」など、全8篇を収録。

2018.8./ 378p

978-4-09-406542-8

本体 ¥790+税



朝日新聞 2018/08/18

**吉里吉里人<上巻>(新潮文庫)**井上 ひさし 著  
新潮社

朝日新聞 2018/08/18

1985.9./ 501p

978-4-10-116816-6

本体 ¥790+税





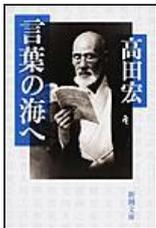
**国語元年 新版(新潮文庫 い-14-35)**

井上 ひさし 著  
新潮社

「全国統一話し言葉」の制定を命じられた官吏・南郷清之輔は、妻、舅、使用人たちの放つ 10 もの方言が飛び交う中、途方に暮れていた…。明治初期に方言の統一という超難問に翻弄される人々の姿を大爆笑のうちに描いた戯曲。

朝日新聞 2018/08/18

2018:1./ 207p  
978-4-10-116835-7  
本体 ¥460+税



**言葉の海へ(新潮文庫 た-27-1)**

高田 宏 著  
新潮社

朝日新聞 2018/08/18

1984:2./ 346p  
978-4-10-133301-4  
本体 ¥590+税



**空にみずうみ(中公文庫 さ78-1)**

佐伯 一麦 著  
中央公論新社

「あの日」から 4 年。青葉木菟の啼き声や合歓の香り、月の満ち欠け。移りゆく自然とめぐり来る季節が、さりげなく前を向かせてくれる…。東北地方に住む作家・早瀬と染色家・柚子夫婦の、ある 1 年を綴る。

朝日新聞 2018/08/18

2018:7./ 505p  
978-4-12-206611-3  
本体 ¥960+税



**絶滅の人類史～なぜ「私たち」が生き延びたのか～(NHK 出版新書 541)**

更科 功 著  
NHK出版

ホモ・サピエンスは他の人類のいいとこ取りをしながら生き延びた!? 初期人類の謎から他の人類との交雑まで、常識を覆す人類史研究の最前線をエキサイティングに描き出す。

朝日新聞 2018/08/18

2018:1./ 249p  
978-4-14-088541-3  
本体 ¥820+税



**総務部長はトランスジェンダー～父として、女として～**

岡部 鈴 著  
文藝春秋

アラフィフ・妻子ありの総務部長は、社内一斉メールでカミングアウトした。「これからは女として生きていきます」家庭は? 会社は? 友人は? 自分らしく生きたい人に勇気を与える告白的ノンフィクション。

朝日新聞 2018/08/18

2018:6./ 230p  
978-4-16-390860-1  
本体 ¥1,600+税



**天地に燦たり**

川越 宗一 著  
文藝春秋

侵略する者、される者それぞれの矜持-。豊臣秀吉の朝鮮出兵により侵略の風が吹き荒れる東アジアを、島津の侍大将、朝鮮国の被差別民の青年、琉球国の官人という 3 つの視点から克明に綴る。

朝日新聞 2018/08/18

2018:7./ 349p  
978-4-16-390870-0  
本体 ¥1,500+税





### グレートネイチャー～生きものの不思議大図鑑～

DK 社 編

スミソニアン協会、オフィス宮崎、オフィス宮崎 著

河出書房新社

世界最大の博物館群・研究機関である米国スミソニアン協会が、構成や編集を責任監修した図鑑。微生物から哺乳類まで、すべての生きものの生きる姿としくみに大迫力のビジュアルで迫る。見返しにも写真あり。

2018:7./ 360p

978-4-309-25381-7

本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2018/08/18



### 花物語<上>(河出文庫)

吉屋 信子 著

河出書房新社

花のように可憐な少女たちを繊細に綴った数々の感傷的な物語。世代を超えて乙女に支持され「女学生のバイブル」と呼ばれた不朽の名作。

2009:5./ 380p

978-4-309-40960-3

本体 ¥950+税



朝日新聞 2018/08/18



### 花物語<下>(河出文庫)

吉屋 信子 著

河出書房新社

可憐に咲く花のような少女たちの儂い物語。「女学生のバイブル」と呼ばれ大ベストセラーになった珠玉の短篇集。

2009:5./ 381p

978-4-309-40961-0

本体 ¥950+税



朝日新聞 2018/08/18



### ゲッベルスと私～ナチ宣伝相秘書の独白～

ブルンヒルデ・ポムゼル、トーレ・D.ハンゼン、石田 勇治、森内 薫、赤坂 桃子 著

紀伊國屋書店出版部

なにも知らなかった。私に罪はない。ヒトラーの右腕としてナチ体制を牽引したゲッベルス宣伝相の 103 歳の元秘書が、69 年の沈黙を破り当時を回想する。2018 年 6 月公開の同名ドキュメンタリー映画の書籍版。

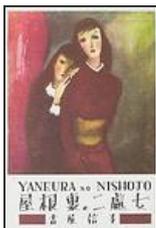
2018:6./ 268p

978-4-314-01160-0

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/08/18



### 屋根裏の二処女(吉屋信子乙女小説コレクション)

吉屋 信子、岳本 野ばら 著

国書刊行会

大正から昭和初期にかけて、乙女の夢と憧れを謳いあげた吉屋信子。その「乙女小説」から厳選しておくる選集。第 2 弾は、寄宿舎を舞台に、二人の「処女」の愛と尊厳を描き上げた、吉屋の原点というべき半自伝的小説。

2003:3./ 347p

978-4-336-04483-9

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/08/18



### 日本思想史の名著 30(ちくま新書 1343)

荻部 直 著

筑摩書房

「古事記」、福澤諭吉「文明論之概略」、「日本国憲法」…。古代から昭和戦後期まで、日本思想史上の名著 30 冊を選び、「人間とは何か」「人間社会とは何か」という普遍的な問いに応える各時代の思考様式を明らかにする。

2018:7./ 269p

978-4-480-07159-0

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/08/18



**言海(ちくま学芸文庫)**

大槻 文彦 著  
筑摩書房  
朝日新聞 2018/08/18

2004:4./ 1,349p  
978-4-480-08854-3  
本体 ¥2,200+税



**松永久秀と下剋上～室町の身分秩序を覆す～(中世から近世へ)**

天野 忠幸 著  
平凡社  
<稀代の悪人><禍々しい怪人物>と評された松永久秀。だが実は、長らく続く武家社会の家格や身分秩序に挑む純粋な改革者だった。最新の研究成果から、まったく新しい久秀像を描く。

2018:6./ 303p  
978-4-582-47739-9  
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/08/18



**良人の貞操<上>**

吉屋 信子 著  
毎日新聞出版  
「この女のためなら、妻を裏切ろう、世も欺こう」もはや善悪の彼岸を信也は越えてしまった…。日本中の話題を呼んだ不倫小説の古典。再刊。

1999:7./ 284p  
978-4-620-51039-2  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/08/18



**良人の貞操<下>**

吉屋 信子 著  
毎日新聞出版  
「妻の私を欺き通して、私の一番の親友のひとと、淫らなことをするような男とは、もう一日も一緒にいたくありません!」邦子の怒りと失望は烈しかった…。1936-37年毎日新聞連載の再刊。

1999:7./ 239p  
978-4-620-51040-8  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/08/18



**ジャコモッティ彫刻と絵画**

デイヴィッド・シルヴェスター、武田 昭彦 著  
みすず書房  
ジャコモッティの彫刻はなぜかくも細いのか-。矢内原伊作と同様にモデルとなった美術評論家が「全身芸術家」に肉迫した金字塔的エッセイ。1964年9月にBBCラジオで放送されたジャコモッティ・インタビューも全文収録。

2018:6./ 270p  
978-4-622-07979-8  
本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2018/08/18



**フジコ・ヘミング 14歳の夏休み絵日記**

フジコ・ヘミング 著  
暮しの手帖社  
永遠の少女のすべてがここに! 魂のピアニスト、フジコ・ヘミングが1946年、14歳の夏休みに綴った絵日記を収録。インタビューも掲載し、その音の原点に迫る。巻頭に折込み、巻末にフジコの手書きのある楽譜つき。

2018:6./ 136p  
978-4-7660-0208-9  
本体 ¥2,315+税



朝日新聞 2018/08/18



**子ども白書〜「子どもを大切にする国」をめざして〜<2018> 型にはめたい大人たち**  
 日本子どもを守る会 編  
 本の泉社  
 いのちと健康・医療・家庭・福祉・司法・学校・地域・文化など、日本の子どもをめぐる現状を詳細に分析し、全国各地の取り組みを紹介する。巻頭では「型にはめたい大人たち」を特集。子ども生活関連年表付き。

2018:8./ 190p  
 978-4-7807-1692-4  
 本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/08/18



**はざまの哲学**  
 野家 啓一 著  
 青土社  
 未知と既知、科学と哲学、事実と虚構、記憶と忘却…。科学哲学、分析哲学、現象学、物語り論の境界線上に、しなやかな文体で刻まれた、哲学的探究の軌跡。1994?2017年に発表した論考をまとめる。

2018:5./ 335p,7p  
 978-4-7917-7074-8  
 本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/08/18

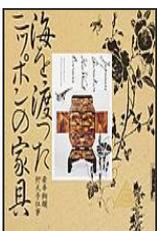


**宮崎滔天〜三十三年の夢〜(人間の記録)**  
 宮崎 滔天 著  
 日本図書センター  
 孫文に強い感銘を受け、辛亥革命など中国革命に献身した革命家・宮崎滔天が、大陸で活動を繰り広げた日々などの思い出や、革命思想について綴る。国光書房1902年刊「三十三年の夢」の改題。

1998:8./ 300p  
 978-4-8205-4307-7  
 本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/08/18



**海を渡ったニッポンの家具〜豪華絢爛仰天手仕事〜(LIXIL BOOKLET)**  
 住友和子編集室、村松 寿満子 編  
 LIXIL出版  
 寄木細工、芝山象嵌、青貝細工、彫刻家具、仙台?箭…。日本の伝統的な美術工芸品を、欧米向けにアレンジした明治時代の輸出家具を、豊富な写真とともに紹介する。LIXIL ギャラリーの企画展に併せて刊行。

2018:6./ 80p  
 978-4-86480-522-3  
 本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/08/18



**カラス学のすすめ**  
 杉田 昭栄 著  
 緑書房  
 日本屈指のカラス博士がカラスを切って、観て、実験して、徹底的に追及したカラス研究の集大成。カラスの身体能力や翼の構造、鳴き声の意味、知的能力の凄さを紹介するほか、神話や伝承、物語など民俗学的見地からも考察する。

2018:6./ 341p  
 978-4-89531-332-2  
 本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/08/18



**科学者はなぜ神を信じるのか〜コペルニクスからホーキングまで〜(ブルーボックス B-2061)**  
 三田 一郎 著  
 講談社  
 宇宙創成を解明する重要な発見をした科学者の多くが実は「創造主」としての神の存在を信じていた。なぜ彼らは神を信じるのか。そこに矛盾はないのか。科学と神の2000年の相克を通して読み解く。

2018:6./ 270p  
 978-4-06-512050-7  
 本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/08/18、日本経済新聞 2018/08/25



**市場のことば、本の声**

宇田 智子 著  
晶文社

那覇に移住して9年。店先から見えてきた、そして店先で考えてきた、本のこと、人のこと、沖縄のこと…。古本屋の店主にして気鋭のエッセイストが綴る珠玉のエッセイ集。『BOOK5』『本』ほか掲載を加筆し単行本化。

2018:6./ 235p  
978-4-7949-7024-4  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/08/18、日本経済新聞 2018/08/25、毎日新聞 2018/08/26



**保守と大東亜戦争(集英社新書 0941)**

中島 岳志 著  
集英社

大東亜戦争に極めて懐疑的な見方を示していた戦中派の保守論客たち。なぜ超国家主義に逆らったのか、そこにはどのような論理と思いがあったのか。彼らが残した言葉に向き合い、現代において真に闘うべきものは何かを炙り出す。

2018:7./ 282p  
978-4-08-721041-5  
本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/08/18、毎日新聞 2018/08/26



**ぼくがきみを殺すまで**

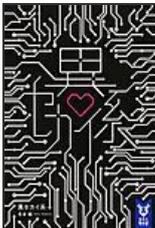
あさの あつこ 著  
朝日新聞出版

敵国ハラの捕虜となった青年 L は、ハラの友人ファルドと過ごした日々を敵兵に語り…。児童文学の名手が描く戦争の物語。『朝日新聞』連載の表題作と、『小説トリッパー』掲載の中編「Kの欠片」を収録。

2018:3./ 246p  
978-4-02-251538-4  
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/08/25



**異セカイ系(講談社タイガ ナ D-01)**

名倉 編 著  
講談社

自分の書いた小説世界に入れることに気づいたおれ。小説通り、黒騎士に愛する姫の母が殺され、大冒険の旅に…って、作者(おれ)が姫を不幸にし主人公(おれ)が救う自己満足。書き直さな! 全員が幸せになる方法を探すんや!

2018:8./ 333p  
978-4-06-512555-7  
本体 ¥750+税



朝日新聞 2018/08/25



**少年の名はジルベール**

竹宮 恵子 著  
小学館

少年愛の美学、少女たちの革命、ライフワーク…。マンガ家・竹宮恵子が名作「風と木の詩」「地球へ…」の創作秘話や、女性版トキワ荘・大泉サロンで仲間と語り合った日々などを綴る。

2016:1./ 237p  
978-4-09-388435-8  
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/08/25



**大きな熊が来る前に、おやすみ。(新潮文庫)**

島本 理生 著  
新潮社

朝日新聞 2018/08/25

2010:2./ 196p  
978-4-10-131481-5  
本体 ¥460+税





**私の少女マンガ講義**

萩尾 望都 著  
新潮社

「リボンの騎士」から「大奥」まで、少女マンガの歴史をひもといたイタリアでの講義を、聴衆との質疑応答とともに完全収録。創作作法や新作「春の夢」など、自作についてもたっぷり語り下ろしたハギオモト流少女マンガ論。

朝日新聞 2018/08/25

2018:3./ 221p  
978-4-10-399602-6  
本体 ¥1,500+税



**障がい者の能力を戦力にする～新しいカタチの「特例子会社」～**

川島 薫 著  
中央公論新社

「障がい者雇用」を推進し、増収増益の優良企業へと成長した楽天ソシオビジネス。その 10 年の軌跡を克明に記すとともに、人材育成、業績アップのノウハウを余すところなく伝える。

朝日新聞 2018/08/25

2018:6./ 197p  
978-4-12-005085-5  
本体 ¥1,200+税



**ファーストラヴ**

島本 理生 著  
文藝春秋

多摩川沿いを血まみれで歩いていた女子大生・環菜。彼女は、父親を、その勤務先である美術学校で刺殺したとして逮捕されるが…。裁判を通じて明らかにされる家族の秘密とは? 『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

朝日新聞 2018/08/25

2018:5./ 299p  
978-4-16-390841-0  
本体 ¥1,600+税



**彼女は頭が悪いから**

姫野 カオルコ 著  
文藝春秋

女子大に進学した美咲と、東京大学理科I類に進学したつばさ。ふたりは恋に落ちたはずだった。渦巻く人々の妬み、劣等感、格差意識。そして起こった集団わいせつ事件。しかし、世間に叩かれたのは被害者の美咲のほうだった…。

朝日新聞 2018/08/25

2018:7./ 473p  
978-4-16-390872-4  
本体 ¥1,750+税



**わたしといろんなねこ**

おくはら ゆめ 著  
あかね書房

ねこが大好きな小学生のあや。うまくいかないことが続くと、大きいねこや小さいねこが家に現れるようになり…。日常とふしぎをいきかうなか、あやが思い出したことや決心したこととは? 絵本作家・おくはらゆめによる童話。

朝日新聞 2018/08/25

2018:6./ 93p  
978-4-251-07307-5  
本体 ¥1,200+税



**巴里の空の下オムレツのにおいは流れる(河出文庫 い 24-1)**

石井 好子 著  
河出書房新社

朝日新聞 2018/08/25

2011:7./ 253p  
978-4-309-41093-7  
本体 ¥630+税





### 大正昭和美人図鑑(らんぶの本)

小針 侑起 著  
河出書房新社

日本髪を結び贅の限りを尽くした和服をまとった芸妓、和洋折衷の装いのキネマ女優、毒々しい極彩色の個性に彩られた歌劇女優…。明治後期から昭和 10 年頃までの「美人」を集め、300 点以上の貴重写真で紹介する。

朝日新聞 2018/08/25

2018:7./ 163p  
978-4-309-75031-6  
本体 ¥1,850+税



### わたしは驢馬に乗って下着をうりにゆきたい(ちくま文庫)

鴨居 羊子 著  
筑摩書房

朝日新聞 2018/08/25

2007:1./ 359p  
978-4-480-42297-2  
本体 ¥900+税



### 力の追求~ヨーロッパ史 1815-1914~<上>(シリーズ近現代ヨーロッパ 200 年史)

リチャード・J.エヴァンズ 著  
白水社

「下からの社会史」に長年取り組んできたドイツ近現代史の世界的権威が、自在な語り口を通して、19 世紀ヨーロッパ史の多様な側面を、光だけでなく影の部分も含めて色彩豊かに描き出す。上は、「革命の遺産」などを収録。

朝日新聞 2018/08/25

2018:6./ 420p,1p  
978-4-560-09630-7  
本体 ¥5,600+税



### 力の追求~ヨーロッパ史 1815-1914~<下>(シリーズ近現代ヨーロッパ 200 年史)

リチャード・J.エヴァンズ 著  
白水社

「下からの社会史」に長年取り組んできたドイツ近現代史の世界的権威が、自在な語り口を通して、19 世紀ヨーロッパ史の多様な側面を、光だけでなく影の部分も含めて色彩豊かに描き出す。下は、「帝国の代償」などを収録。

朝日新聞 2018/08/25

2018:6./ 433p,26p  
978-4-560-09631-4  
本体 ¥5,800+税



### 玉砕の島ペリリュー~生還兵 34 人の証言~

平塚 柁緒 著  
PHP研究所

昭和 22 年、ペリリュー島のジャングルや洞窟の中から武装した 34 人の日本兵が投降した。彼らの証言をもとに、ペリリュー島における日米の死闘から奇跡の生還までを克明に描く。

朝日新聞 2018/08/25

2018:6./ 387p  
978-4-569-84104-5  
本体 ¥1,900+税



### 日航機 123 便墜落最後の証言(平凡社新書 885)

堀越 豊裕 著  
平凡社

30 年以上を経た今も、その原因をめぐって議論が続く日航機 123 便墜落事故。調査にあたった米運輸安全委員会、ボーイング社をはじめ、日米双方を徹底取材。多くの証言、秘話を軸に事故の全体像を描く。

朝日新聞 2018/08/25

2018:7./ 326p  
978-4-582-85885-3  
本体 ¥900+税





**風と木の詩<第 10 巻>(白泉社文庫)**

竹宮 恵子 著  
白泉社  
朝日新聞 2018/08/25

1995:9./ 306p  
978-4-592-88160-5  
本体 ¥619+税  
  
\* 9 7 8 4 5 9 2 8 8 1 6 0 5 \*



**エコラリアス～言語の忘却について～**

ダニエル・ヘラー＝ローゼン、関口 涼子 著  
みすず書房

言語の崩壊過程に言語の本質をみたヤコブソン、失語症を考察したフロイト、母語についてはじめて語ったダンテなどを導きに、忘却こそが言語が本来持つ運動性であることを論じた、言語哲学の重要書。

2018:6./ 275p,50p  
978-4-622-08709-0  
本体 ¥4,600+税  
  
\* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 7 0 9 0 \*

朝日新聞 2018/08/25



**ぼくにまかせて!**

デイヴィッド・ウィーズナー 著  
BL出版

バッターの打ったボールが空に高くあがった。オーライ、オーライ。「ぼくにまかせて!」と、男の子はグラブを高くかかげるが…。ボールを捕るまでの少年の心理を描く、文字のほとんどない絵本。

2018:7./ 32p  
978-4-7764-0854-3  
本体 ¥1,600+税  
  
\* 9 7 8 4 7 7 6 4 0 8 5 4 3 \*

朝日新聞 2018/08/25



**炭鉱と「日本の奇跡」～石炭の多面性を掘り直す～**

中澤 秀雄、嶋崎 尚子 著  
青弓社

戦後日本を作り出した炭鉱の歴史と現在を、企業・自治・家族・女性・産業遺産などの視点から解説。グローバルに展開する世界の炭鉱とも比較して、否定的イメージもたれがちな炭鉱の意義を 21 世紀によみがえらせる。

2018:7./ 213p  
978-4-7872-3438-4  
本体 ¥2,400+税  
  
\* 9 7 8 4 7 8 7 2 3 4 3 8 4 \*

朝日新聞 2018/08/25



**近代アジアの映画産業**

笹川 慶子 著  
青弓社

欧州とアメリカの映画はアジアの国や地域でどのように広まり、土着の文化を変容させたのか。配給と興行に焦点を当て、19 世紀末?20 世紀初頭にしばって調査・分析。多種多様なアジア市場の変容を複層的・俯瞰的に読み直す。

2018:7./ 645p  
978-4-7872-7413-7  
本体 ¥8,000+税  
  
\* 9 7 8 4 7 8 7 2 7 4 1 3 7 \*

朝日新聞 2018/08/25



**中内功のかばん持ち～昭和のカリスマと呼ばれた男～**

恩地 祥光 著  
プレジデント社

偏屈で天邪鬼、背も低く、ずんぐりむっくりで顔も悪い。しかしどこか面白さがあり、憎めない。ダイエー創業者・中内功の秘書として 4 年間、間近で仕えた著者が、その素顔を説き明かす。

2013:9./ 182p  
978-4-8334-2059-4  
本体 ¥1,800+税  
  
\* 9 7 8 4 8 3 3 4 2 0 5 9 4 \*

朝日新聞 2018/08/25



### 行ったり来たり大通り

五味 太郎 著  
絵本館

バスを待っている人、銀行を探している人、花壇の手入れをする人…。いろんな人たちのたくさんのエピソードが、大通りを舞台に描かれ…。ページをめくって、行ったり来たりしながら楽しむ絵本。見返しに奥付あり。

朝日新聞 2018/08/25

2018:7./ 24p  
978-4-87110-403-6  
本体 ¥1,400+税



### 怠ける権利! ~過労死寸前の日本社会を救う10章~

小谷 敏 著  
高文研

なぜこの国では、過労死が絶えないのか。ラファエル、ラッセル、ケインズ、ヴェブレン、そして水木しげる。「怠ける権利」の思想史をひもときながら、過労死を生み出す「自発的隷従」を克服する“処方箋”を提示する。

朝日新聞 2018/08/25

2018:7./ 350p  
978-4-87498-653-0  
本体 ¥2,400+税



### 宛字百景 ~漢字と日本語の結び目をときほぐす~

杉本 つとむ 著  
八坂書房

波及失、択食、歌女…。読めそうで読めない「宛字(あて字)」108語を厳選紹介。漢字と日本語の両面から、エッセイと共にわかりやすく解説。史的展開を追う「宛字概説」も収録。『産経新聞』連載から抜粋し、加筆・修正。

朝日新聞 2018/08/25

2018:6./ 210p,6p  
978-4-89694-249-1  
本体 ¥2,400+税



### 死海文書<8> 詩篇

死海文書翻訳委員会、勝村 弘也、上村 静 著  
ぶねうま舎

死海文書の聖書写本以外の約 600 文書のうち、ある程度意味を成す分量の文章が残っているものすべてを原典から訳出。8(詩篇)は、感謝の詩篇、バルキ・ナフシ、外典詩篇、外典哀歌、神の諸々の業と共同の告白を収録。

朝日新聞 2018/08/25

2018:6./ 30p,245p,4p  
978-4-906791-82-8  
本体 ¥3,600+税



### なるべく働きたくない人のお金の話

大原 扁理 著  
百万年書房

週 2 日働き、年収 100 万円以下で暮らすなかで、「年収が下がるにつれて経済的不安からも解放される」という体験をした著者が、どう考え、行動し、お金に対する考え方や接し方がどう変わったかを綴る。鶴見済との対談も収録。

朝日新聞 2018/08/25

2018:7./ 191p  
978-4-9910221-2-8  
本体 ¥1,400+税



### フィレンツェ ~比類なき文化都市の歴史~ (岩波新書 新赤版 1719)

池上 俊一 著  
岩波書店

ローマの植民地だった古代、都市の自由が掲げられた中世、メディチ王朝期-。いつの時代も人々はフィレンツェを美の都に仕立て上げた。ルネサンスにとどまらない「歴史の重層性」から、その魅力あふれる文化と芸術を活写する。

東京・中日新聞 2018/08/05

2018:5./ 12p,254p,6p  
978-4-00-431719-7  
本体 ¥960+税





### 性の進化史～いまヒトの染色体で何が起きているのか～(新潮選書)

松田 洋一 著  
新潮社

なぜ性は存在するのか? なぜヒトは雌雄同体がないのか? 性転換する生物の目的とは? 命を次世代に継いでいくため、驚くほど多様化させてきた生き物たちの「性」の進化史を辿り、併せて生殖補助医療と人類の未来を考える。

2018.5./ 269p  
978-4-10-603827-3  
本体 ¥1,300+税



東京・中日新聞 2018/08/05



### ヒロシマ・パラドクス～戦後日本の反核と人道意識～

根本 雅也 著  
勉誠出版

なぜ原爆が人類の過ちで、その経験を継承しなければならないのか。原爆投下が包括的な共同体の出来事として普遍化されていく歴史的・社会的背景を追い、戦後の日本と広島が抱える「核」を巡る矛盾を被爆者の視点から描き出す。

2018.6./ 280p,3p  
978-4-585-23063-2  
本体 ¥3,200+税



東京・中日新聞 2018/08/05



### 地震学をつくった男・大森房吉～幻の地震予知と関東大震災の真実～

上山 明博 著  
青土社

近代地震学の発展にすべてを捧げ、ノーベル賞候補にもなった天才科学者・大森房吉は、なぜ歴史から抹消されたのか。彼の地震予知の大望はどのような結末を迎えたのか。日本科学史の闇に消えたひとりの男の足跡を明らかにする。

2018.6./ 269p  
978-4-7917-7081-6  
本体 ¥1,900+税



東京・中日新聞 2018/08/05



### ナチスに挑戦した少年たち

フィリップ・フーズ、金原 瑞人 著  
小学館

ドイツに取り入って金儲けしようとする大人に対する怒り、破壊活動をするときのスリルと恐怖、好きな女の子への思い、逮捕後に考えたこと…。第二次世界大戦、ナチス占領下のデンマークでレジスタンス活動をした少年らの物語。

2018.6./ 303p  
978-4-09-290613-6  
本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2018/08/12



### マリア・シャラポワ自伝

マリア・シャラポワ、金井 真弓 著  
文藝春秋

貧しい少女時代、ステージパパ、遅い初恋、世界ランキング 1 位、そしてドーピング騒動…。ロシアで生まれ、6 歳のときにアメリカに移住。テニス選手としてこれまで 5 回グランドスラムで優勝したマリア・シャラポワの自伝。

2018.6./ 324p  
978-4-16-390862-5  
本体 ¥2,100+税



東京・中日新聞 2018/08/12



### 女子校制服手帖

森 伸之 著  
河出書房新社

萌える可愛さ! 制服研究歴 40 年の著者が、女子校制服のすべてを紹介。普段の学校生活から文化祭、体育祭、卒業式といった学校行事まで、明るい笑顔がはじける女子校生活に制服から迫る。

2018.6./ 157p  
978-4-309-25603-0  
本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2018/08/12



### 唱歌の社会史～なつかしさとあやうさと～

永澄 憲史、中西 光雄、河津 聖恵、山室 信一、伊藤 公雄、野田 淳子、中西 圭三、佐久間 順平 著

メディアアイランド

唱歌を通じて得られる懐かしさや叙情性の裏に、ときにあやういメッセージが潜んでいる。多くの人々が愛してやまない唱歌を、日本文学、日本史、社会学、詩歌などの観点から多面的に論じる。

東京・中日新聞 2018/08/12

2018.6./ 263p  
978-4-904678-58-9

本体 ¥2,000+税



### キミのお金はどこに消えるのか

井上 純一 著

KADOKAWA

少子高齢化、終身雇用崩壊、弱者切り捨て…。でも日本は「当面」大丈夫! お金が回ればもっと大丈夫! 世の中を動かす「お金」のことがすいすいわかる、「中国嫁日記」の著者による経済マンガ。『文芸カドカワ』掲載に加筆。

東京・中日新聞 2018/08/19

2018.8./ 166p

978-4-04-107110-6

本体 ¥1,000+税



### 選べなかった命～出生前診断の誤診で生まれた子～

河合 香織 著

文藝春秋

現在の母体保護法では障害を理由にした中絶は認められていない。誤診で提訴した母親に病院側はそう反論し…。家族とは? 生きるとは? 出生前診断を巡る様々な当事者たちの声から紡ぐノンフィクション。

東京・中日新聞 2018/08/19

2018.7./ 245p

978-4-16-390867-0

本体 ¥1,700+税



### 師匠歌丸～背中を追い続けた三十二年～

桂 歌助 著

イースト・プレス

無口な男が落語家を志し、桂歌丸の門を叩いた。歌丸は陰で無限の愛情を持って弟子を支えていたが、不器用な弟子はそれに気がつかず…。悪戦苦闘しながらも師匠の背中を追い続けた桂歌助が、師匠との32年を赤裸々に語る。

東京・中日新聞 2018/08/19

2018.7./ 237p

978-4-7816-1693-3

本体 ¥1,500+税



### <モータウン>のデザイン

堀田 典裕 著

名古屋大学出版会

クルマと交通システムにより創り出された環境、現代の<モータウン>。自動車工場や物流ターミナル、レジャー施設等、自動車を巡る建築・環境デザインを生産・居住・移動・消費の観点で分析し、環境デザインの可能性を問う。

東京・中日新聞 2018/08/19

2018.5./ 8p,357p,57p

978-4-8158-0910-2

本体 ¥4,800+税



### 有馬稲子 わが愛と残酷の映画史

有馬 稲子、樋口 尚文 著

筑摩書房

小津安二郎、市川崑、内田吐夢、今井正ら名監督、そして佐田啓二、中村錦之助ら名優たちの素顔とは? 銀幕や舞台上で活躍を続ける大女優・有馬稲子が、映画黄金期から現在までを語る。写真も豊富に掲載。

東京・中日新聞 2018/08/26

2018.6./ 222p

978-4-480-81847-8

本体 ¥1,900+税





### 直島誕生～過疎化する島で目撃した「現代アートの挑戦」全記録～

秋元 雄史 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

草間彌生、宮島達男、安藤忠雄…。錚々たるアーティストたちの作品がひしめきあう「現代アートの聖地・直島」はどのようにして生まれたのか？ 知られざる誕生の経緯を、仕掛け人である著者が語り尽くす。

2018:7./ 399p

978-4-7993-2321-2

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2018/08/26



### 線量計と奥の細道

ドリアン助川 著

幻戯書房

松尾芭蕉「奥の細道」の全行程約 2000 キロを旅しながら、「生きる」ということを考えた日々。「3.11」後の日本がどうなっているのか、目と耳と足で確かめた路上の記録。写真、地図も収録。

2018:6./ 333p

978-4-86488-151-7

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2018/08/26



### 竹下しづの女～理性と母性の俳人 1887-1951～

坂本 宮尾 著

藤原書店

封建的な家父長制から、個を主張する民主主義へと移る「過渡期」を懸命に生きる女性の内面を俳句で表現した竹下しづの女。全力で生き抜いた波乱の生涯をたどり、作句の時代背景を明らかにしながらその秀句を紹介する。

2018:6./ 392p

978-4-86578-173-1

本体 ¥3,600+税



東京・中日新聞 2018/08/26



### 河合隼雄語録～カウンセリングの現場から～(岩波現代文庫)

河合 隼雄、河合 俊雄 編

河合 隼雄 著

岩波書店

1974 年から 1976 年にかけての、京都大学臨床心理学教室での事例検討会における、臨床心理学者・河合隼雄のコメントをまとめる。心理的課題を抱える子どもの保護者などにも役立つヒントが満載。河合俊雄の解題付き。

2018:6./ 5p,177p

978-4-00-600383-8

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/08/05



### dele(角川文庫 ほ 20-5)

本多 孝好 著

KADOKAWA

依頼人の死後、その人が使っていたデジタルデバイスから指定されたデータを削除する。そんな仕事をする祐太郎と圭司は、様々な事件に遭遇する。残された秘密のデータの謎、そこにある真実とは…。心震わすミステリ。

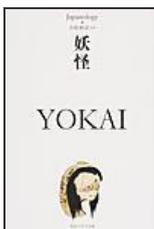
2018:5./ 333p

978-4-04-106805-2

本体 ¥640+税



読売新聞 2018/08/05



### 妖怪(角川ソフィア文庫 J500-1)

KADOKAWA

北斎・国芳・芳年・石燕をはじめ、有名妖怪絵師たちが描いた妖怪画百点超をオールカラーで収録。妖怪の種類や絵師ごとに、その多彩な魅力をたっぷり紹介する。

2015:1./ 206p

978-4-04-408324-3

本体 ¥920+税



読売新聞 2018/08/05



**おとなの青春旅行(講談社現代新書 2486)**

下川 裕治、室橋 裕和 著

講談社

海峡料理、ベトナム戦争跡、ジャズの聖地、シルクロード、モザイク画…。団体旅行に疲れた人へ贈る、自由に冒険的な、極上の「海外ひとり旅」15選。失敗しない旅行術も伝える。

2018.7./ 254p

978-4-06-512462-8

本体 ¥920+税



読売新聞 2018/08/05



**カルピスをつくった男 三島海雲**

山川 徹 著

小学館

行商としてモンゴル高原を行き来していた三島海雲は、遊牧民から振る舞われた乳製品の未知なる味に心が躍り、やがてその感動は海を渡る。日本初の乳酸菌飲料カルピスの産みの親の知られざる生涯を辿る。

2018.6./ 351p

978-4-09-389777-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/08/05



**お多福来い来い〜てんてんの落語案内〜**

細川 貂々 著

小学館

「自分が大キライ」だった私は落語と出会って変わった! 自称ネガティブ思考クイーン漫画家・細川貂々が、名作落語を入りに幸せに生きる方法を考える、生きづらさを感じている人たちを励ますコミックエッセイ。

2018.7./ 223p

978-4-09-396543-9

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/08/05



**コンビニ外国人(新潮新書 767)**

芹澤 健介 著

新潮社

全国の手数コンビニで働く外国人店員はすでに4万人超。「移民不可」にもかかわらず、世界第5位の「外国人労働者流入国」に日本がなったカラクリと、知られざる隣人たちの切ない現実に、丹念な取材で迫ったルポルタージュ。

2018.5./ 223p

978-4-10-610767-2

本体 ¥760+税



読売新聞 2018/08/05



**敗れても敗れても〜東大野球部「百年」の奮戦〜**

門田 隆将 著

中央公論新社

日本野球のルーツというべき伝統を誇る東大野球部は、なぜ負け続けるのに挑戦をやめないのか。戦火の中、沖縄に消えた英雄や、「赤門旋風」の主役たち、150キロ左腕宮台康平らへの取材を通じて、謎を秘めた集団を解剖する。

2018.5./ 307p

978-4-12-005089-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/08/05



**クリミナル・タウン(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 466-1)**

サム・マンソン、金井 真弓 著

早川書房

街中で高校生が何者かに惨殺された。被害者の同級生アディソンは相棒の少女ディガーとともに犯人さがしに乗り出す。やがて事件の背後にあった裏切りを知り…。2018年8月公開映画の原作。

2018.7./ 463p

978-4-15-183501-8

本体 ¥980+税



読売新聞 2018/08/05



**沈黙のひと(文春文庫 こ 29-8)**

小池 真理子 著  
文藝春秋

パーキンソン病を患い、沈黙のうちに亡くなった父。遺された文書と手紙には、絶望に直面してもなお、家族や恋人への愛、短歌への情熱と共に生きた、揺るぎない足跡が刻まれていた…。

2015.5./ 397p  
978-4-16-790358-9  
本体 ¥600+税



読売新聞 2018/08/05



**ゆる妖怪カタログ**

妖怪文化研究会 著  
河出書房新社

今日もどこかで、ぬっと現る、つっこみどころ満載の個性豊かな面々。定番「図面百鬼夜行」「化物尽絵巻」「稲生物怪録絵巻」からマイナー妖怪まで、古今東西 100 超のにくめない妖怪たちが一挙集合!

2015.8./ 127p  
978-4-309-22637-8  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/08/05



**薄情(河出文庫 い 40-2)**

絲山 秋子 著  
河出書房新社

他人と深く関わることを避けながら暮らす宇田川静生。彼は木工職人・鹿谷の工房で、そこに集う人たちとお喋りを楽しみながら日々を過ごしていた。しかし名古屋から帰ってきた高校の後輩との再会以降、人生が変化していき…。

2018.7./ 276p  
978-4-309-41623-6  
本体 ¥720+税



読売新聞 2018/08/05



**時の余白に<続>**

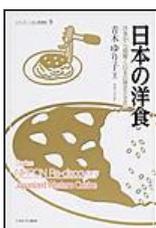
芥川 喜好 著  
みずすず書房

大震災の秋から 2017 年暮れまで、ベテラン記者が縦横に綴った達意のコラム 72 篇。世相の片隅にいきづく美を手がかりに、廉直さを失った現代に鋭く警世を發し、本当の豊かさとは何かを問いかける。『読売新聞』連載を改稿。

2018.7./ 305p  
978-4-622-08708-3  
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/08/05



**日本の洋食~洋食から紐解く日本の歴史と文化~(シリーズ・ニッポン再発見 9)**

青木 ゆり子 著  
ミネルヴァ書房

日本で独自に発展した西洋風の料理「洋食」。インドにはないカレーライス、イタリアにはないスパゲッティナポリタンなど、日本独自の料理としてさまざまに発展してきた洋食の歴史を紐解き、文化的背景やそのルーツをさぐる。

2018.5./ 8p,205p  
978-4-623-08291-9  
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/08/05



**植物たちの救世主**

カルロス・マグダレナ、三枝 小夜子 著  
柏書房

なによりも植物が大好きなカルロス・マグダレナは、世界最大級の英国王立植物園キュー・ガーデンで学び、植物たちの救世主となった。みずからの人生を織り交ぜつつ、植物の大切さを伝える。

2018.7./ 287p  
978-4-7601-5006-9  
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/08/05



### 怪異古生物考(生物ミステリー)

土屋 健、荻野 慎諧、久 正人 著  
技術評論社

怪異はすべてが架空というわけではない。モデルとなった何かがあり、その記憶が怪異として残っている。ユニコーン、龍、ぬえ、天狗など、9つの怪異に注目し、古生物学的な考察をもとに、その正体に迫る。

2018:5./ 239p  
978-4-7741-9806-4  
本体 ¥1,980+税



読売新聞 2018/08/05



### デザインされたギャンブル依存症

ナターシャ・ダウ・シュール、日暮 雅通 著  
青土社

テーブル・ゲームにかわり、マシン・ギャンブルが普及するラスヴェガス。ギャンブラーの心理からメーカーの戦略、行政の規制緩和まで、インタビュー等をもとに分析し、マシン・ギャンブルが広まった意味をさぐる。

2018:6./ 585p  
978-4-7917-7058-8  
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/08/05



### 怖い浮世絵

日野原 健司、渡邊 晃、太田記念美術館 著  
青幻舎

月岡芳年、葛飾北斎、歌川国芳...。有名絵師たちの「怖い浮世絵」をお楽しみください。江戸の人びとが抱いた恐怖のイメージを、生前の恨みをはらす「幽霊」、異形の「化け物」、凄惨な「血みどろ絵」に分類して紹介する。

2016:8./ 295p  
978-4-86152-566-7  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/08/05



### 白石かずこ詩集成<1>

白石 かずこ 著  
書肆山田

白石かずこの詩作群。1は、1949年?1975年の「卵のふる街」「虎の遊戯」「もうそれ以上おそくやってきてはいけない」などのほか、1950年?1967年の単行詩集未収録詩篇を収録。

2017:11./ 608p  
978-4-87995-961-4  
本体 ¥5,500+税



読売新聞 2018/08/05



### だけどだいじょうぶ〜「特別支援」の現場から〜

農中 茂徳 著  
石風社

聾学校・養護学校といった特別支援学校に教員として30年間勤めた著者が、これまで学校で行ってきた授業の様子や、その中で子どもたちと心を通わせていった日々などを綴る。『ウインズ・風』連載を単行本化。

2018:6./ 235p  
978-4-88344-281-2  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/08/05



### 古生物学者、妖怪を掘る〜鵺の正体、鬼の真実〜(NHK出版新書 556)

荻野 慎諧 著  
NHK出版

鬼、鵺、河童...。誰もがよく知るあの妖怪は、じつは実在した生き物だった!? 古文獻を古生物学の視点から「科学書」として読み解くと、「怪異」は全く新しい姿を見せ始め。若き科学の徒がスリリングな知的遊戯に挑む!

2018:7./ 203p  
978-4-14-088556-7  
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/08/05、朝日新聞 2018/08/11



### 赤い鳥事典

赤い鳥事典編集委員会 編  
柏書房

児童文学のみならず、日本文学に大きな影響を与えてきた雑誌『赤い鳥』の総合的事典。『赤い鳥』にまつわるあらゆるテーマを 7 部構成で配列し、多彩な分野の研究成果をまとめる。

2018:8./ 663p  
978-4-7601-4941-4  
本体 ¥13,000+税



読売新聞 2018/08/05、朝日新聞 2018/08/11



### 聖と俗～分断と架橋の美術史～

宮下 規久朗 著  
岩波書店

人は美術に何を仮託してきたのか。宗教改革もたらした西洋美術の大断層と、その亀裂に浸透していった美術家達の水脈を追い、現在にまで至る美術そのもののプロフィールをつまびらかにする。様々な媒体に発表した論文を集成。

2018:5./ 9p,354p  
978-4-00-061252-4  
本体 ¥3,400+税



読売新聞 2018/08/05、日本経済新聞 2018/08/18



### 新編明治人物夜話(岩波文庫 緑 153-3)

森 銑三、小出 昌洋 著  
岩波書店

生涯、ひたすら書物を読み、そこから得た材料を整理して、書きたいことを書き続けた森銑三。本書は、明治の人物に関する遺事・逸聞を、引用をふんだんに交えながらエピソード的に書き綴った折々の文章の中から、新たに 39 篇を選び、編んだもの。

2001:8./ 447p  
978-4-00-311533-6  
本体 ¥900+税



読売新聞 2018/08/12



### 山頭火俳句集(岩波文庫 31-211-1)

種田 山頭火、夏石 番矢 編  
種田 山頭火 著  
岩波書店

托鉢行乞の旅の僧として生き、自己の生を自由律の俳句に表現した俳人・種田山頭火は、世界で愛読されている前衛詩人でもある。山頭火の俳句千句を精選し、詩と真実を伝える日記、随筆を併せて収録する。

2018:7./ 535p  
978-4-00-312111-5  
本体 ¥1,060+税



読売新聞 2018/08/12



### 自省録～マルクス・アウレーリウス～ 改版(岩波文庫 青 610-1)

マルクス・アウレーリウス 著  
岩波書店

多端な公務に東奔西走しつつ、透徹した目で自らを内省した記録は、古来、数知れぬ人々の心の糧となってきた。神谷美恵子の清冽な訳文に、新たな補注を加えた。

2007:2./ 327p  
978-4-00-336101-6  
本体 ¥860+税



読売新聞 2018/08/12



### 桜島・日の果て・幻化(講談社文芸文庫)

梅崎 春生 著  
講談社

読売新聞 2018/08/12

1989:6./ 397p  
978-4-06-196047-3  
本体 ¥1,200+税





**狂人日記(講談社文芸文庫)**

色川 武大 著  
講談社  
読売新聞 2018/08/12

2004:9./ 311p  
978-4-06-198381-6  
本体 ¥1,300+税



**旅の時間(講談社文芸文庫)**

吉田 健一 著  
講談社  
読売新聞 2018/08/12

2006:12./ 298p  
978-4-06-198462-2  
本体 ¥1,300+税



**女官～明治宮中出仕の記～(講談社学術文庫 2376)**

山川 三千子 著  
講談社  
明治 42 年、18 歳で宮中に仕えた華族・久世三千子の手記。数十人にのぼる女官の職名と仕事、天皇皇后の睦まじい様子、皇太子の意外な振る舞い、「お妾」である権典侍と皇后の関係など、明治宮中の闇をあぶりだす一級資料。

2016:7./ 337p  
978-4-06-292376-7  
本体 ¥1,100+税



読売新聞 2018/08/12



**鬼平梅安江戸暮らし(集英社文庫 い 8-12)**

池波 正太郎、高丘 卓 編  
池波 正太郎 著  
集英社

長谷川平蔵の花見、握り鮓の起源、昔の船宿、大石内蔵助の好物の牛肉、鯉料理...。時代小説の人気キャラクター達が生きる江戸の風物や食文化が鮮やかに蘇る。食通作家・池波正太郎の粋なエッセイ集。

2018:6./ 199p  
978-4-08-745757-5  
本体 ¥520+税



読売新聞 2018/08/12



**ブルックリンの少女(集英社文庫 ミ 5-1)**

ギョーム・ミュツソ、吉田 恒雄 著  
集英社

過去をひた隠しにする婚約者アンナに詰め寄った小説家のラファエル。観念した彼女は、衝撃的な光景が撮影された写真を差し出した直後に失踪する。ラファエルが調査を進めると、かつて起きた不審な事件や事故が浮上し...

2018:6./ 479p  
978-4-08-760751-2  
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/08/12



**風濤 改版(新潮文庫)**

井上 靖 著  
新潮社  
読売新聞 2018/08/12

2009:1./ 341p  
978-4-10-106317-1  
本体 ¥550+税





**人間をお休みしてヤギになってみた結果(新潮文庫 シ-38-52)**

トーマス・トウェイツ、村井 理子 著  
新潮社

四足歩行の研究のためにヤギを解剖し、草から栄養をとる装置を開発。医者に止められても脳の刺激実験を繰り返し…。イグノーベル賞を受賞した、抱腹絶倒のサイエンス・ドキュメント。

2017:11./ 280p  
978-4-10-220003-2  
本体 ¥940+税



読売新聞 2018/08/12



**象の消滅～短篇選集 1980-1991～**

村上 春樹 著  
新潮社

ニューヨークで出版された、村上春樹の初期短篇 17 篇収録の「The elephant vanishes」を、英語版と同じ作品構成で刊行。アメリカデビュー当時を語る書下ろしエッセイも収める。

2005:3./ 426p  
978-4-10-353416-7  
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/08/12



**予告された殺人の記録(Obras de Garcia Marquez)**

G. ガルシア＝マルケス、野谷 文昭 著  
新潮社

そして彼は最後に気づいた。おれは殺されたのだ…。運命という現実。その量り知れぬ糸模様の全貌に挑む表題作をはじめ、人生という日々の奇蹟の閃光を異郷に置かれた人間の心に映し出す 12 の短篇を収録する。

2008:1./ 349p  
978-4-10-509013-5  
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/08/12



**日本の美徳(中公新書ラクレ 624)**

瀬戸内 寂聴、ドナルド・キーン 著  
中央公論新社

日本の古典が愛読されている理由、文豪たちとの貴重な思い出、時代の中で変わっていく言葉、変わらない心…。ともに 96 歳のドナルド・キーンと瀬戸内寂聴が、「日本の心」について熱く語り合う。

2018:7./ 188p  
978-4-12-150624-5  
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/08/12



**麻布襟記～附・自選荷風百句～(中公文庫 な 73-1)**

永井 荷風 著  
中央公論新社

永井荷風は大正 9 年夏、東京・麻布市兵衛町に居を移し、以来、洋館「偏奇館」に 25 年暮らした。そこで執筆された短篇小説や随筆など全 14 篇と、自選荷風百句を収録する。須賀敦子による巻末エッセイも掲載。

2018:7./ 380p  
978-4-12-206615-1  
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/08/12



**うなぎばか**

倉田 タカシ 著  
早川書房

もしも、うなぎがいなくなったら？ 元うなぎ屋の父と息子それぞれの想いと葛藤を描く表題作など、うなぎ絶滅後の人類を描いたポストうなぎエンタメ連作 5 篇を収録。『SF マガジン』掲載に書き下ろしを加える。

2018:7./ 252p  
978-4-15-209781-1  
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/08/12



**飛ぶ孔雀**

山尾 悠子 著  
文藝春秋

石切り場の事故以来、火が燃えにくくなった世界。庭園の大茶会で火を運ぶ娘たちを孔雀が襲い、大蛇うごめく地下世界を男は遍歴する…。不世出の幻想作家による連作長編小説。『文學界』掲載に、書き下ろしを加える。

読売新聞 2018/08/12

2018.5./ 243p  
978-4-16-390836-6  
本体 ¥2,000+税



**ツチハンミョウのギャンブル**

福岡 伸一 著  
文藝春秋

4千匹のうち生き残れるのは1匹か2匹。ツチハンミョウの壮絶なギャンブル人生に比べたら、私たち人間なんて。生物学者の福岡ハカセが、大胆なる仮説・珍説・枝葉末節を綴る。『週刊文春』連載を書籍化。

読売新聞 2018/08/12

2018.6./ 349p  
978-4-16-390859-5  
本体 ¥1,700+税



**ボローニャ紀行(文春文庫)**

井上 ひさし 著  
文芸春秋

読売新聞 2018/08/12

2010.3./ 253p  
978-4-16-711128-1  
本体 ¥530+税



**生きていく民俗～生業の推移～(河出文庫 み 19-3)**

宮本 常一 著  
河出書房新社

海の民、山の民、川の民、村の民、町の民…。それぞれの職業との関わりと変遷、お互いの交流・交易のありようとその移り変わりの実態を、文献渉猟、フィールド調査、そして刻明な記憶をまじえながら解明する民俗学の決定版。

読売新聞 2018/08/12

2012.7./ 257p  
978-4-309-41163-7  
本体 ¥760+税



**シモーヌ・ヴェイユ アンソロジー(河出文庫 ウ 11-1)**

シモーヌ・ヴェイユ、今村 純子 著  
河出書房新社

善と美、力、労働、神、不幸、そして非人格的なものをめぐる極限的にして苛烈な問いが生み出す美しくびしい生と思考の結晶。思想家シモーヌ・ヴェイユの最重要テキスト7篇の新訳を収録する。

読売新聞 2018/08/12

2018.7./ 438p,32p  
978-4-309-46474-9  
本体 ¥1,300+税



**「その日暮らし」の人類学～もう一つの資本主義経済～(光文社新書 829)**

小川 さやか 著  
光文社

「貧しさ」がないアマゾンの先住民、気軽に仕事を転々とするアフリカ都市民、海賊行為が切り開く新しい経済・社会…。気鋭の文化人類学者が、「その日暮らし」という生き方を明らかにする。『小説宝石』連載を加筆・修正。

読売新聞 2018/08/12

2016.7./ 222p  
978-4-334-03932-5  
本体 ¥740+税





**みちづれはいても、ひとり**

寺地 はるな 著  
光文社

子供はいなくて、夫と別居中、今は職を探している弓子 39 歳。男とすぐに付き合ってしまうけれど、二股はかけない、不倫はしない、独身で休職中の楓 41 歳。ひよんなことから 2 人は、弓子の逃げた夫を探す旅に出る…。

読売新聞 2018/08/12

2017:10./ 228p  
978-4-334-91191-1  
本体 ¥1,500+税



**マレー諸島<上>(ちくま学芸文庫)**

A・R・ウォーレス 著  
筑摩書房

読売新聞 2018/08/12

1993:8./ 572p  
978-4-480-08091-2  
本体 ¥1,553+税



**マレー諸島<下>(ちくま学芸文庫)**

A・R・ウォーレス 著  
筑摩書房

読売新聞 2018/08/12

1993:8./ 580p,62p  
978-4-480-08092-9  
本体 ¥1,748+税



**グリーン家殺人事件(創元推理文庫)**

S. S. ヴァン・ダイン 著  
東京創元社

ニューヨークのどまんなかにとり残された前世紀の古邸グリーン家で、2 人の娘が射たれるという惨劇がもちあがった。この事件を皮切りに、一家の皆殺しを企てる、姿なき殺人者が跳梁する。

読売新聞 2018/08/12

1991:9./ 467p  
978-4-488-10303-3  
本体 ¥680+税



**この世界の片隅に<上>(ACTION COMICS)**

こうの 史代 著  
双葉社

平成の名作・ロングセラー「夕風の街 桜の国」の第 2 弾ともいべき本作。戦中の広島県の軍都、呉を舞台にした家族ドラマ。主人公、すずは広島市から呉へ嫁ぎ、新しい家族、新しい街、新しい世界に戸惑う。しかし、一日一日を確かに健気に生きていく…。

読売新聞 2018/08/12

2008:1./ 142p  
978-4-575-94146-3  
本体 ¥648+税



**この世界の片隅に<中>(ACTION COMICS)**

こうの 史代 著  
双葉社

すずも北條家に嫁ぎあくせくしてる間に、ようやく呉の街にも馴染んできた。リンさんという友達もできた。夫婦ゲンカもする。しかし戦況は厳しくなり、配給も乏しく日々の生活に陰りが…。そして昭和 20 年 3 月、ついに呉の街にも大規模な空襲が!

読売新聞 2018/08/12

2008:7./ 138p  
978-4-575-94179-1  
本体 ¥648+税





### この世界の片隅に<下>(ACTION COMICS)

こうの 史代 著  
双葉社

昭和の戦中。広島市から軍都呉市に嫁いだすずは、不器用ながら北條家に徐々に溶け込み日々を過ごす。やがて戦争の暗雲が周囲を色濃く染めていく。大空襲、原爆投下、終戦。歴史の酷い歯車が一人の女性の小さな世界をゆがませていく。そして...。読む者の心を揺さぶる最終巻!

読売新聞 2018/08/12

2009:4./ 148p  
978-4-575-94223-1  
本体 ¥648+税



### アイヌの昔話〜ひとつぶのサッチポロ〜(平凡社ライブラリー)

萱野茂 著  
平凡社  
読売新聞 2018/08/12

1993:9./ 242p  
978-4-582-76020-0  
本体 ¥874+税



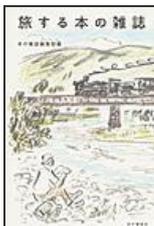
### 幻のアフリカ(平凡社ライブラリー)

ミシェル・レリス、岡谷 公二、田中 淳一、高橋 達明 著  
平凡社

ダカール=ジブチ、アフリカ横断調査団の公的記録。植民地主義の暴力とそれを告発する私的な吐露?。客観性を裏切る記述のあり方が、ポストコロニアリズム等の現代的文脈で、科学性の問題の突破口として絶対参照される民族誌。

読売新聞 2018/08/12

2010:7./ 1,065p  
978-4-582-76705-6  
本体 ¥2,800+税



### 旅する本の雑誌

本の雑誌編集部 編  
本の雑誌社

本好きが、本好きに贈る「本の旅」。エリア別 2泊3日のおすすめコースや、本屋さん、古本屋さんなど、本にまつわる場所に特化した旅を案内する。『本の雑誌』2017年7月号特集に書下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2018/08/12

2018:7./ 271p  
978-4-86011-416-9  
本体 ¥1,600+税



### 地下室のパンサー

アモス・オズ、村田 靖子 著  
未知谷

1947年、イスラエル国家誕生を目前にしたパレスチナの夏。12歳の少年が時代と人間の新たな局面を迎える最中、無垢さ純粹さを疑い、寛容さ相対へと移行する成長の痛みを、冷徹な眼差しで綴った物語。

読売新聞 2018/08/12

1998:11./ 190p  
978-4-915841-76-7  
本体 ¥2,000+税



### 武士の日本史(岩波新書 新赤版 1718)

高橋 昌明 著  
岩波書店

鎧兜に身を固め、駿馬で戦場を駆けめぐり、刀をふるっては勇猛果敢に斬り結ぶ。そんな武士の姿は、はたしてどこまで「史実」か? 長年武士研究を牽引してきた著者が、歴史学の最新の成果をもとに武士の実像を描く。

読売新聞 2018/08/19

2018:5./ 4p,280p  
978-4-00-431718-0  
本体 ¥880+税





**逃げ～2014 年全日本選手権ロードレース～(小学館文庫 さ36-1)**

佐藤 喬 著

小学館

極限のスピードと恐怖の中で繰り上げられる無数のドラマ。ロードレーサーたちは何を思い、何のために走るのか? 2014 年全日本選手権ロードレースに挑んだ選手たちの思惑と葛藤を描くスポーツノンフィクション。

2018:7./ 205p

978-4-09-406537-4

本体 ¥570+税



読売新聞 2018/08/19



**闇市(新潮文庫 も-43-1)**

マイク・モラスキー 編

石川 淳 著

新潮社

太宰治「貨幣」、耕治人「軍事法廷」、鄭承博「裸の捕虜」、平林たい子「桜の下にて」など全 11 編を収録した戦争末期および終戦直後の闇市をめぐる短編小説集。闇市に対する試論(私論)を提示する解説も掲載。

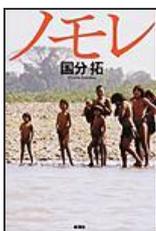
2018:8./ 407p

978-4-10-121536-5

本体 ¥670+税



読売新聞 2018/08/19



**ノモレ**

国分 拓 著

新潮社

100 年前のアマゾン奥地、入植者が支配するゴム農園から命がけて逃れた先住民がいた。「ノモレ(仲間)を探してくれ」との約束は果たされるのか…。NHK スペシャルが生んだノンフィクション。『新潮』掲載を書籍化。

2018:6./ 297p

978-4-10-351961-4

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/08/19



**実証史学への道～一歴史家の回想～**

秦 郁彦、笹森 春樹 著

中央公論新社

当事者へのヒアリングや一次資料を駆使して、昭和史の隠された部分を解明してきた著者が、みづからの歴史家人生を振り返る。巻末にヒアリングノート「旧陸海軍指導者たちの証言」を収録。『読売新聞』連載を加筆・修正。

2018:7./ 308p

978-4-12-005099-2

本体 ¥2,100+税



読売新聞 2018/08/19



**日本人はなぜ臭いと言われるのか～体臭と口臭の科学～(光文社新書 952)**

桐村 里紗 著

光文社

口臭や体臭は、健康のバロメーター。予防医学を専門とする内科医が、においとは何かにはじまり、におい物質と嗅覚や脳の関係、また口臭や体臭の種類や原因となる疾病と対策について、わかりやすく解説する。

2018:6./ 265p

978-4-334-04358-2

本体 ¥860+税



読売新聞 2018/08/19



**死せる菩提樹～シューベルト《冬の旅》と幻想～**

梅津 時比古 著

春秋社

あの夜の闇のなかの菩提樹は、その後どうなっているだろうか…。前著「冬の旅 24 の象徴の森へ」に通底するシューベルトの歌曲集「冬の旅」第 5 曲「菩提樹」をめぐる謎に迫る。後ろから読む「菩提樹」ディスク一覧」付き。

2018:7./ 175p,35p

978-4-393-93599-6

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/08/19



**大衆宣伝の神話～マルクスからヒトラーへのメディア史～ 増補(ちくま学芸文庫 サ 31-1)**

佐藤 卓己 著  
筑摩書房

大衆宣伝における相当数の宣伝技術を体系的に使用した最初の大衆政党、ドイツ社会民主党。マルクス時代の市民的公共性からヒトラー時代の大衆的公共性への構造転換を解き明かし、大衆政治の「メディア神話」を明らかにする。

読売新聞 2018/08/19

2014.5./ 512p,13p  
978-4-480-09609-8  
本体 ¥1,500+税



**市場って何だろう～自立と依存の経済学～(ちくまプリマー新書 302)**

松井 彰彦 著  
筑摩書房

自立するために、多くの依存先を持つ！自立のためのさまざまな依存先を提供しうる市場という頼れる存在。市場の原理をゲーム理論で読み解きながら、そのあり方・可能性を考える。

読売新聞 2018/08/19

2018.7./ 198p  
978-4-480-68324-3  
本体 ¥820+税



**世紀の小説『レ・ミゼラブル』の誕生**

デイヴィッド・ベロス、立石 光子 著  
白水社

南北戦争の兵士も共産圏の人々も愛読した小説「レ・ミゼラブル」。文学史に輝く永遠のベストセラーを、作者ユゴーの生涯や信条とからめ、19世紀のフランス社会を浮き彫りにしながら、多面的に読み解く。

読売新聞 2018/08/19

2018.7./ 334p,29p  
978-4-560-09645-1  
本体 ¥3,800+税



**小泉進次郎 日本の未来をつくる言葉(扶桑社新書 274)**

鈴木 款 著  
扶桑社

2009年@初選挙「この逆風、最後まで吹き荒れています」、2011年?@復興支援「現場に入り、声を聞き、汗をかいていく」…。 “総理に一番近い男”小泉進次郎の進化の軌跡を、彼の言葉と周囲の証言をもとに紹介する。

読売新聞 2018/08/19

2018.6./ 247p  
978-4-594-07991-8  
本体 ¥830+税



**日本のヤバい女の子**

はらだ 有彩 著  
柏書房

昔々、マジで信じられないことがあったんだけど…。 「浦島太郎伝説」の乙姫、「落語皿屋敷」のお菊など、昔話の女の子たちを題材に綴った一冊。ウェブマガジン『アパートメント』掲載を加筆し書籍化。

読売新聞 2018/08/19

2018.6./ 223p  
978-4-7601-4984-1  
本体 ¥1,400+税



**甲子園に挑んだ監督たち**

八木澤 高明 著  
辰巳出版

見破れなかった箕島戦のスquizズを未だに思い返す PL 学園・山本泰、秋田県下に配られるはずだった幻の号外を保管している金足農業・嶋崎久美…。ノンフィクションの奇才が、甲子園出場監督の生き様に迫る。

読売新聞 2018/08/19

2018.7./ 255p  
978-4-7778-2118-1  
本体 ¥1,600+税





### 田園のイングランド～歴史と文学でめぐる四八景～

宇野 毅、市川 仁、石原 孝哉、伊澤 東一 著  
彩流社

イングランドー美しい村「カースル・クーム」、ロビン・フッドの舞台「ノッティンガム」、ハリーポッターの舞台「ダラム大聖堂」…。執筆者らが実際に旅した 48 の町を、歴史・文学の解説を織り交ぜて紹介する紀行エッセイ。

2018:7./ 223p,15p  
978-4-7791-2499-0

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/08/19



### 絶対に出る世界の幽霊屋敷(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ロバート・グレンビル、片山 美佳子 著  
日経ナショナルジオグラフィック社

騎士の怨念が棲みつく古城、魂のさまよう墓地、血塗られた裏通り、猟奇殺人事件の舞台となった館、怪奇現象の絶えない廃病院…。世にも恐ろしい世界の心霊スポット 89 カ所を、美しい写真と幽霊話で紹介する。

2018:7./ 225p  
978-4-86313-403-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/08/19



### 0円ハウス

坂口 恭平、佐藤 直子 著  
リトル・モア

鳥が巣を作るように、人間も家を建てることができる。朝顔の塀、土管の家、犬との二世帯住宅…すべて総工費 0 円!白川公園周辺、釜ヶ崎、新宿中央公園などに取材した、路上の家の写真集。カバー裏に図あり。英文併記。

2004:7./ 199p  
978-4-89815-117-4

本体 ¥3,300+税



読売新聞 2018/08/19



### 住まいで「老活」(岩波新書 新赤版 1724)

安楽 玲子 著  
岩波書店

家の中は、危険がいっぱい! しかし正しい知識と決意があれば、快適で安全な暮らしを実現できる。1000 件近い要介護者の自宅を訪問し、コンサルティングやケアリフォームを手がけてきた著者が、そのエッセンスを開陳する。

2018:6./ 14p,222p  
978-4-00-431724-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/08/26



### 大江健三郎全小説<3>

大江 健三郎 著  
講談社

ノーベル文学賞作家・大江健三郎の小説群を、詳しい解説を付して編集した全集決定版。3 は、「政治少年死す」(「セヴンティーン」第 2 部)を含む初書籍化作品 4 編、入手困難作品 1 編など、全 14 編を収録。

2018:7./ 515p  
978-4-06-509000-8

本体 ¥5,000+税



読売新聞 2018/08/26



### 芸人と俳人(集英社文庫 ま 29-1)

又吉 直樹、堀本 裕樹 著  
集英社

作家としても注目を集める芸人・又吉直樹が、気鋭の俳人・堀本裕樹に弟子入り。ひそやかな 2 年の学びをまとめる。書き下ろしエッセイや実作俳句 20 句も収録。

2018:7./ 365p  
978-4-08-745766-7

本体 ¥680+税



読売新聞 2018/08/26



**鳥類学者無謀にも恐竜を語る(新潮文庫 か-84-1)**

川上 和人 著  
新潮社

恐竜は鳥も同然である。鳥類学者が、鳥類と恐竜の緊密な類縁関係を掘り所とし、鳥類の進化を再解釈し、恐竜の生態を復元する。鳥類学者の目から見た恐竜の姿とは?

2018:7./ 427p  
978-4-10-121511-2  
本体 ¥670+税



読売新聞 2018/08/26



**凡人の怪談~不思議がひょんと現れて~**

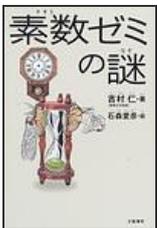
工藤 美代子 著  
中央公論新社

靈感はそれほどないのに、奇妙な出来事に遭遇してしまい...。「幽霊付きの物件」「背中に乗った悪魔さん」など、お化けが見えたり不思議な体験をする著者の日常を綴った46話を収録。『婦人公論』連載を纏めて単行本化。

2018:7./ 244p  
978-4-12-005097-8  
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/08/26



**素数ゼミの謎**

吉村 仁、石森 愛彦 著  
文芸春秋

13年あるいは17年おきに何億匹も大量発生する、アメリカの不思議なセミ。17・13という「素数」に隠された謎とは。日本人科学者が初めて解いた、奇妙な奇妙な「素数ゼミ」の秘密。子供から大人まで楽しめる科学読み物。

2005:7./ 126p  
978-4-16-367230-4  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/08/26



**日傘を差す女**

伊集院 静 著  
文藝春秋

都心のビルの屋上で、捕鯨船の伝説の砲手である老人が、胸に鉾が刺さった遺体で発見される。捜査本部は自殺と結論づけるが、酷似した凶器で殺害された遺体が次々と見つかり...。『オール讀物』連載に加筆して書籍化。

2018:8./ 395p  
978-4-16-390881-6  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/08/26



**刑務所しか居場所がない人たち~学校では教えてくれない、障害と犯罪の話~**

山本 譲司 著  
大月書店

刑務所は、世間から排除され続けた障害者が最後に行きつく「福祉施設」だった。触法障害者や出所者の支援に奔走する著者が、福祉と司法のすきまに落ちる人々の実態を鋭く、優しく説き起こす。

2018:5./ 165p  
978-4-272-33093-5  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/08/26



**鯨分限(光文社文庫 い49-4)**

伊東 潤 著  
光文社

江戸から明治へ。鯨の不漁、南海地震による大津波、海難事故「大背美流れ」...。激変する時代の荒波に抗い、度重なる苦境に立ち向かい続けた男、捕鯨集団「太地鯨組」の若き棟梁・太地覚吾の物語。『小説宝石』掲載を文庫化。

2018:8./ 460p  
978-4-334-77712-8  
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/08/26



**踏絵を踏んだキリシタン(歴史文化ライブラリー 469)**

安高 啓明 著  
吉川弘文館

キリスト教信者摘発のための踏絵は、なぜ形骸化したのか。九州諸藩が抱える事情や作法、踏絵素材の変更などを解明し、信者でないことを証明する手段への変容過程を探究。悲劇的文脈で語られてきた踏絵観に一石を投じる。

2018:7./ 9p,268p  
978-4-642-05869-8  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/08/26



**フラジャイル・コンセプト(建築・都市レビュー叢書 04)**

青木 淳 著  
NTT出版

揺れる大地にあらがわず「ぼよん」と思考すること。ここから建築をはじめよう! 震災以降の著者の建築への取り組み方の変化、息遣い、さらに今後の展望を描く論集。

2018:5./ 12p,269p  
978-4-7571-6074-3  
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/08/26



**感性は感動しない~美術の見方、批評の作法~(教養みらい選書 003)**

榎木 野衣 著  
世界思想社

子供の絵はなぜいいのか? 絵はどうやって見てどう評価すればいいのか? 美術批評家・榎木野衣が絵の見方と批評の作法をやさしく伝授し、批評の根となる人生を描く。美術批評を書くに至った経緯や実際の現場も紹介。

2018:7./ 5p,194p  
978-4-7907-1713-3  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/08/26



**日本のウミウシ(ネイチャーガイド)**

中野 理枝 著  
文一総合出版

貝殻を持たない巻貝の仲間で、美しい色彩と多様な形態で知られるウミウシ。北海道から沖縄までの日本近海に産するウミウシを、フィールドで撮影された写真を中心に約 1400 種収録。外部形態の特徴などを解説する。

2018:6./ 543p  
978-4-8299-8409-3  
本体 ¥5,500+税



読売新聞 2018/08/26



**ごみ収集という仕事~清掃車に乗って考えた地方自治~**

藤井 誠一郎 著  
コモンズ

「現場主義」の若手研究者が新宿区内で 9 カ月間にわたって、ごみの収集を中心に清掃指導や環境学習などを体験。体験に基づき、清掃という仕事の奥深さ、民間委託の問題点、そして本来の地方自治のあり方について論じる。

2018:6./ 261p  
978-4-86187-150-4  
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/08/26



**物理学はいかに創られたか~初期の観念から相対性理論及び量子論への思想の発展~<上巻> 改版(岩波新書 赤版 R-14)**

アルベルト・アインシュタイン、レオポルト・インフェルト 著  
岩波書店

20 世紀を代表する物理学者であるアインシュタインとインフェルトが、専門的予備知識を持たない読者のために、現代物理学の全貌を平易に解説した万人のための入門書。

1963:9./ 177p  
978-4-00-400014-3  
本体 ¥760+税



日本経済新聞 2018/08/04



**物理学はいかに創られたか～初期の観念から相対性理論及び量子論への思想の発展～<下巻> 改版(岩波新書 赤版 R-15)**

アルベルト・アインシュタイン、レオポルト・インフェルト 著

岩波書店

20 世紀を代表する物理学者であるアインシュタインとインフェルトが、専門的予備知識を持たない読者のために、現代物理学の全貌を平易に解説した万人のための入門書。

日本経済新聞 2018/08/04

1963:10./ 194p  
978-4-00-400015-0  
本体 ¥740+税



**ペイルートからエルサレムへ～NY タイムズ記者の中東報告～**

トマス・L.フリードマン 著

朝日新聞出版

日本経済新聞 2018/08/04

1993:7./ 693p  
978-4-02-256656-0  
本体 ¥3,398+税



**愛の論理学(角川新書 K-213)**

高橋 昌一郎 著

KADOKAWA

身近で誰でも知っている概念-「愛」。隣人愛、服従愛、動物愛など、7 種の「愛」を、心理学、哲学などそれぞれ別の学問分野からアプローチする。バーに訪れる常連客達の会話に聞き耳を立てる形で構成、楽しんで読める一冊。

日本経済新聞 2018/08/04

2018:6./ 265p  
978-4-04-082212-9  
本体 ¥840+税



**孤独の発明～または言語の政治学～**

三浦 雅士 著

講談社

なぜ人間だけが言葉を話すようになったのか? 現地語・国語・普遍語、土着と外来、感動の構造…。人間のあらゆる認識、思考、行為の根幹をなす、言語という現象の本質に迫る。『群像』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

日本経済新聞 2018/08/04

2018:6./ 550p  
978-4-06-220880-2  
本体 ¥3,500+税



**テンプル騎士団(集英社新書 0940)**

佐藤 賢一 著

集英社

12 世紀初頭に誕生し、軍事力・政治力・経済力すべてを持ち合わせた超国家組織となったテンプル騎士団。その成立過程から悲劇的結末まで、200 年にわたる興亡を鮮やかに描き出す。『青春と読書』連載を加筆・修正。

日本経済新聞 2018/08/04

2018:7./ 284p  
978-4-08-721040-8  
本体 ¥900+税



**作家たちの愚かしくも愛すべき中国～なぜ、彼らは世界に発信するのか?～**

高 行健、余 華、閻 連科、飯塚 容 著

中央公論新社

華人作家で初めてノーベル賞を受賞した高行健、次の受賞候補と言われる余華、閻連科の文学と言説を取り上げ、中国文学の魅力を伝える。高行健×大江健三郎、余華×中島京子、閻連科×リービ英雄の対談も収録。

日本経済新聞 2018/08/04

2018:6./ 237p  
978-4-12-005093-0  
本体 ¥2,200+税





**日本軍兵士〜アジア・太平洋戦争の現実〜(中公新書 2465)**

吉田 裕 著  
中央公論新社

高率の餓死、戦場での自殺と「処置」、特攻、物資欠乏…。勇猛と語られる日本兵が、凄惨な体験を強いられた戦争の現実とは。兵士の目線・立ち位置から、特に敗色濃厚になった時期以降のアジア・太平洋戦争の実態を追う。

2017:12./ 6p,228p  
978-4-12-102465-7  
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2018/08/04



**検証アベノミクス「新三本の矢」〜成長戦略による構造改革への期待と課題〜**

福田 慎一 編  
東京大学出版会

新たな成長戦略は日本経済の閉塞感を打破し、潜在成長力を高め、持続的成長を実現することができたのであろうか。「新三本の矢」を多角的に分析し、その意義を冷静に検証する。『日経研月報』連載を加筆し書籍化。

2018:6./ 10p,227p,9p  
978-4-13-040284-2  
本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/08/04



**ティンカー、テイラー、ソルジャー、スパイ 新訳版(ハヤカワ文庫 NV 1253)**

ジョン・ル・カレ 著  
早川書房

英国情報部「サーカス」の中核に潜むソ連の二重スパイを探せという任務を託された元情報部員スマイリー。二重スパイは、かつての仇敵カーラが操っているという。裏切者の正体は?映画「裏切りのサーカス」の原作。

2012:3./ 549p  
978-4-15-041253-1  
本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2018/08/04



**絶望キャラメル**

島田 雅彦 著  
河出書房新社

諦めムード漂う絶望の町・葦原に帰ってきた、破天荒な新米坊主・放念は、4人の高校生の個性を活かし、「夢」に向かって走り出すが…。東村アキコ描き下ろしのウォームアップコミックも収録。『文藝』連載を単行本化。

2018:6./ 283p  
978-4-309-02698-5  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/08/04



**世界一高価な切手の物語〜なぜ1セントの切手は950万ドルになったのか〜**

ジェームズ・バロン、高山 祥子 著  
東京創元社

世界に1枚しかないとされる切手は、どのようにして950万ドル(約10億円)の価値を有するに至ったのか。約160年前、英領ギアナで印刷された切手「1セント・マゼンタ」をめぐるコレクターの数奇な運命と情熱を描く。

2018:7./ 211p,23p  
978-4-488-00388-3  
本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/08/04



**「Gゼロ」後の世界〜主導国なき時代の勝者はだれか〜**

イアン・ブレマー、北沢 格 著  
日本経済新聞出版社

アメリカ主導の体制が終わったいま、次に訪れるのは、米中のG2体制か、第2の冷戦の勃発か。そのとき日本は。気鋭の政治学者が、ポストGゼロ時代の展開を予測する。

2012:6./ 267p  
978-4-532-35522-7  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/08/04



### 対立の世紀～グローバリズムの破綻～

イアン・ブレマー、奥村 準 著

日本経済新聞出版社

エリート層への怒り、ポピュリズム政党の台頭、仕事を奪うテクノロジーへの不安…。数々の「対立」を、世界は克服できるのか。地政学の第一人者が、これから何が、どのようなシナリオで起こるのか、丹念に読み解く。

日本経済新聞 2018/08/04

2018:6./ 281p

978-4-532-35783-2

本体 ¥1,800+税



### SPQR ローマ帝国史<1> 共和政の時代

メアリー・ビアード、宮崎 真紀 著

亜紀書房

古代ローマ発祥から、カラカラ帝が帝国内の全自由民に市民権を与えるまで、古代ローマ史前半の千年を追い、テヴェレ川沿いの小さな町がなぜ巨大帝国に発展したのかを読み解く。カラー口絵も収録。

日本経済新聞 2018/08/04

2018:5./ 356p

978-4-7505-1537-3

本体 ¥2,400+税



### SPQR ローマ帝国史<2> 皇帝の時代

メアリー・ビアード、宮崎 真紀 著

亜紀書房

古代ローマ発祥から、カラカラ帝が帝国内の全自由民に市民権を与えるまで、古代ローマ史前半の千年を追い、テヴェレ川沿いの小さな町がなぜ巨大帝国に発展したのかを読み解く。カラー口絵も収録。完結編。

日本経済新聞 2018/08/04

2018:5./ 367p

978-4-7505-1538-0

本体 ¥2,400+税



### 捏造された聖書

バート・D.アーマン 著

柏書房

イエスは死を前にして錯乱したのか?毒を飲んででも平気だなんて言ったのか?そもそも新約聖書にイエスが「唯一神」だなんて書いてあるのか?多くの誤謬と捏造に満ちた聖書の謎をめぐるノンフィクション。

日本経済新聞 2018/08/04

2006:6./ 294p

978-4-7601-2942-3

本体 ¥2,200+税



### マラッカ物語

鶴見 良行 著

時事通信社

日本経済新聞 2018/08/04

1981:1./ 490p

978-4-7887-8124-5

本体 ¥2,000+税



### 手話の歴史～ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで～<上>

ハーラン・レイン、斉藤 渡、前田 浩 著

築地書館

フランスで始まった手話法によるろう教育がアメリカに伝えられ、発展する歴史を、詳細な資料をもとに丁寧に記述。上は、アメリカ初のろう学校教師ローラン・クレールの回顧を軸に、フランスとアメリカのろう教育の変遷を描く。

日本経済新聞 2018/08/04

2018:6./ 268p

978-4-8067-1560-3

本体 ¥2,500+税





### 手話の歴史～ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで～<下>

ハーラン・レイン、斉藤 渡、前田 浩 著  
築地書館

フランスで始まった手話法によるろう教育がアメリカに伝えられ、発展する歴史を、詳細な資料をもとに丁寧に記述。下は、ローラン・クレールの死から 1900 年までのろう教育がたどった道と、その考察を収録する。

2018:6./ 291p  
978-4-8067-1561-0  
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/08/04



水源  
アイン・ランド 著  
ビジネス社

建築家のサクセス・ストーリーでもあり恋人達の物語でもあり、ホモソーシャルな男同士の絆と愛憎を描く一種のゲイ・ストーリーでもある。しかし何よりもこの小説は政治思想小説である?。米国の大ロングセラー小説日本初訳。

2004:7./ 1,037p  
978-4-8284-1132-3  
本体 ¥5,000+税



日本経済新聞 2018/08/04



勇気ある人々  
ジョン・F.ケネディ 著  
英治出版

20 世紀最高のリーダー、ジョン・F・ケネディ。彼が理想とし、心の支えとした、アメリカの歴史に名を残す偉大な先人たちのエピソードをもとに自分の信じる生き方を描いた、情熱と気迫の人間論。

2008:1./ 390p  
978-4-86276-023-4  
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/08/04



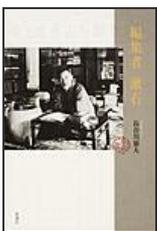
エスキモーに氷を売る  
ジョン・スポールストラ、中道 暁子 著  
きこ書房

魅力のない商品をいかにセールスするか? 観客動員数最下位の全米プロバスケットチームを、最弱のまま高収益チームへと変貌させた奇跡のマーケティング手法を紹介する。ポケット版。

2012:4./ 363p  
978-4-87771-292-1  
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/08/04



編集者漱石  
長谷川 郁夫 著  
新潮社

編集感覚に優れた正岡子規と親交を結んだ夏目漱石は、『朝日新聞』文芸欄の編集者として精力的に活動し、大正文学の開花に大きな影響を及ぼした。「編集者」という異色の視点から漱石を考察する。

2018:6./ 355p  
978-4-10-336392-7  
本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2018/08/04、東京・中日新聞 2018/08/05



腸と脳～体内の会話はいかにあなたの気分や選択や健康を左右するか～  
エムラン・メイヤー、高橋 洋 著  
紀伊國屋書店出版部

私たちの消化器系は、従来の想定よりはるかに複雑で強力だ。腸と腸内の微生物と脳が交わす情報のやりとりが心身に及ぼす影響や、腸内環境の異変と疾病の関係などをわかりやすく解説。食事や生活に関するアドバイスも収録。

2018:6./ 327p  
978-4-314-01157-0  
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/08/04、東京・中日新聞 2018/08/26



### ドエクル探検隊

草山 万兎、松本 大洋 著  
福音館書店

1935年。風おじさんの家に招かれた竜二とさゆりは、アンデス山脈からの危急の知らせに、すぐさま探検隊を結成し、南米ペルーへと向かう。それは、数々の「謎」を追う大冒険の始まりだった。

2018:6./ 732p  
978-4-8340-8405-4  
本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2018/08/04、読売新聞 2018/08/19



### 天才はあきらめた(朝日文庫 や 43-1)

山里 亮太 著  
朝日新聞出版

「自分は天才じゃない」そう悟った日から、地獄のような努力がはじまった。日々のくやしさを燃料に爆走する、南海キャンディーズの山ちゃんこと山里亮太が、恰好悪いことも全て書いた青春記。

2018:7./ 255p  
978-4-02-261936-5  
本体 ¥620+税



日本経済新聞 2018/08/04、読売新聞 2018/08/19、朝日新聞 2018/08/25



### 唐山感情集(講談社文芸文庫 ひ E3)

講談社

幽玄な詞藻で、他に類を見ない言語世界を構築した日夏耿之介。酒と多情多恨の憂いを述べる漢詩の風韻をやまとことばの嫋々たる姿に移し替え、さらに独自かつ自在の境地に遊ぶ、稀有な訳詩集。

2018:7./ 245p  
978-4-06-512244-0  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/08/04、毎日新聞 2018/08/12



### ファシスト的公共性～総力戦体制のメディア学～

佐藤 卓己 著  
岩波書店

市民的公共性とは異なる国民の一体感とは何か。メディア史の視座から日独の戦中=戦後期の比較をとおして、「ポスト真実」時代の現代的課題をも照射する。

2018:4./ 8p,319p,17p  
978-4-00-061260-9  
本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2018/08/11



### ジェイン・エア<上>(岩波文庫 赤 232-1)

シャーロット・ブロンテ 著  
岩波書店

伯母に疎まれ、寄宿学校に入れられた孤児ジェインは、18歳の秋、自由と自立を望み旅立つ。家庭教師に雇われた邸で待つ新しい運命とは…。主人公の真率な語り的魅力的な、読みつがれる愛の物語。

2013:9./ 440p  
978-4-00-357002-9  
本体 ¥1,070+税



日本経済新聞 2018/08/11



### ジェイン・エア<下>(岩波文庫 赤 232-2)

シャーロット・ブロンテ 著  
岩波書店

身分と慣習を乗り越え結びあう二つの魂、その前に立ちはだかる過酷な事実。再び一人で歩きだしたジェインが、放浪の果てに出会うのは…。自由を求め、自らの意思で運命を切り開く若い女性が語る、時代を超えた鮮烈な愛の物語。

2013:10./ 511p  
978-4-00-357003-6  
本体 ¥1,140+税



日本経済新聞 2018/08/11



**小学3年生から始める!こども語彙力 1200～考える力が育ち、頭がグングンよくなる～**  
 齋藤 孝 著  
 KADOKAWA  
 小学校を卒業するまでに覚えておきたい言葉をテスト形式で勉強できる。書き込み式。

2018:3./ 247p  
 978-4-04-602065-9  
 本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/08/11



**白暗淵(しろわだ)(講談社文芸文庫 ふ A9)**  
 古井 由吉 著  
 講談社  
 静寂、沈黙の先にあらわれる、白き喧噪。さざめき、沸きたつ意識は、時空を往還し、生と死のあわいに浮かぶ世界の真相をうつす。表題作のほか、「朝の男」「地に伏す女」「雨宿り」など全 12 作品を収めた連作短篇集。

2016:6./ 328p  
 978-4-06-290312-7  
 本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/08/11



**デジタル・ポピュリズム～操作される世論と民主主義～(集英社新書 0934)**  
 福田 直子 著  
 集英社  
 タイムラインに紛れ込む偽ニュース、日常が丸裸になるグーグル検索、深層心理に訴えるマイクロターゲット広告…。巧みなデジタル戦略によって人びとを分断・誘導する様々な手法を紹介し、デジタル時代の民主主義を考える。

2018:5./ 220p  
 978-4-08-721034-7  
 本体 ¥740+税



日本経済新聞 2018/08/11



**炭鉱町に咲いた原貢野球～三池工業高校・甲子園優勝までの軌跡～(集英社文庫 さ 60-1)**  
 澤宮 優 著  
 集英社  
 昭和 40 年、甲子園高校野球大会で福岡代表の三池工業高校が優勝。炭鉱労働者争議で町が二分化され流血の争いの中に、少年たちがもたらした栄光と希望の軌跡を描く。監督の原貢の息子・原辰徳や、孫・菅野智之にも追加取材。

2018:7./ 302p  
 978-4-08-745769-8  
 本体 ¥640+税



日本経済新聞 2018/08/11



**タイワニーズ～故郷喪失者の物語～**  
 野嶋 剛 著  
 小学館  
 彼らがいたから、日本は台湾と強く、深くつながり続けた。蓮舂、東山彰良、ジュディ・オング、安藤百福、邱永漢ほか、在日台湾人の家族の歴史に迫る。『SAPIO』『文藝春秋』掲載に加筆し単行本化。

2018:6./ 315p  
 978-4-09-389779-2  
 本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/08/11



**戦前日本のポピュリズム～日米戦争への道～(中公新書 2471)**  
 筒井 清忠 著  
 中央公論新社  
 日比谷焼き打ち事件に淵源を持ち、選挙による政権の成立と普通平等選挙制実現により本格化し、最後は日米戦争に行き着いた近代日本のポピュリズム。なぜ政党政治の崩壊と戦争という破滅に至ったか、現代への教訓を歴史に学ぶ。

2018:1./ 3p,300p  
 978-4-12-102471-8  
 本体 ¥920+税



日本経済新聞 2018/08/11



**物語アラビアの歴史～知られざる 3000 年の興亡～(中公新書 2496)**

薮 勇造 著  
中央公論新社

シリア砂漠からアラビア半島の先端まで、古代の王国からイスラームの勃興をへて、石油資源をもとに近代化をすすめる現代まで。中東の核心地帯の 3000 年の歴史を追う。

2018:7./ 386p  
978-4-12-102496-1  
本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2018/08/11



**ソーシャルメディアと公共性～リスク社会のソーシャル・キャピタル～**

遠藤 薫 編  
東京大学出版会

ソーシャルメディアは人びとをつなぐのか？ 現代社会の秩序形成の可能性と問題状況を、「公共性の構造転換」という視点から、シミュレーションやビッグデータ分析などの新しい文理融合技法を積極的に取り込んで解明する。

2018:1./ 5p,260p  
978-4-13-056113-6  
本体 ¥4,400+税



日本経済新聞 2018/08/11



**フィルターバブル～インターネットが隠していること～(ハヤカワ文庫 NF 459)**

イーライ・パリサー 著  
早川書房

あなた好みの情報を自動的に取捨選択して見せてくれる、近年のネット社会のフィルタリング技術。その裏に潜む、民主主義さえゆるがしかねない意外な落とし穴とは。「フィルターバブル」問題に警鐘を鳴らす。

2016:3./ 374p  
978-4-15-050459-5  
本体 ¥900+税



日本経済新聞 2018/08/11



**獣でなぜ悪い**

園子温 著  
文藝春秋

吉高由里子、満島ひかり、二階堂ふみ...。彼女たちはなぜ壁を突破できたのか。美しく、強くなるには。本当の自由とは。映画監督・園子温が自由について、影響を受けた女性たちについて、縦横無尽に語り尽くす。

2018:5./ 175p  
978-4-16-390847-2  
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/08/11



**奪われた家/天国の扉～動物寓話集～(光文社古典新訳文庫 KA コ 10-1)**

コルタサル、寺尾 隆吉 著  
光文社

アルゼンチンを代表する作家・コルタサルの傑作短篇集。古い大きな家に住む兄妹をある日何者かが襲い、2 人の生活が浸食されていく「奪われた家」、盛り場のキャバレーで死んだ恋人の幻を追う「天国の扉」など、全 8 篇を収録。

2018:6./ 232p  
978-4-334-75379-5  
本体 ¥780+税



日本経済新聞 2018/08/11



**おもてなし幻想～デジタル時代の顧客満足と収益の関係～**

マッシュー・ディクソン、ニック・トーマン、リック・デリシ、神田 昌典、リブ・コンサルティング、安藤 貴子 著  
実業之日本社

顧客の期待を超える「おもてなし」は、業績にはほとんど関係がなかった！ 本来の顧客志向の強みに立ち返り、情報化社会における顧客ニーズである「顧客努力の軽減」に向き合う先に、おもてなしの未来があることを説く。

2018:7./ 411p  
978-4-408-33803-3  
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/08/11



**マンガでわかる!10 才までに覚えたい言葉 1000～難しい言葉・ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語・カタカナの言葉～**

高濱 正伸 著

永岡書店

難しい言葉・ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語・カタカナの言葉など、10 才までに覚えておきたい言葉 1000 語を、マンガや例文、クイズで楽しく覚えられる本。中学受験でよく出る言葉にはマークがついています。

2016.6./ 399p  
978-4-522-43423-9  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/08/11



**高橋名人のゲーム 35 年史(ポプラ新書 153)**

高橋名人 著

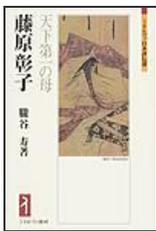
ポプラ社

「ゲームは 1 日 1 時間」「16 連射」など、かつてファミコンブーム時代に一世を風靡した高橋名人。テレビゲーム界のレジェンドがファミコンから現代までのゲームの歴史と裏側を綴る。

2018.7./ 237p  
978-4-591-15936-1  
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2018/08/11



**藤原彰子～天下第一の母～(ミネルヴァ日本評伝選)**

隴谷 寿 著

ミネルヴァ書房

藤原摂関家の繁栄に大きく貢献した藤原彰子。政治的に重要な人物だが現存する公的な記録が少ない彰子の生涯を、彰子に仕えた紫式部や和泉式部の日記や文学資料を織り交ぜながら、丹念に読み解く。

2018.5./ 13p,335p,9p  
978-4-623-08362-6  
本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/08/11



**歴史は実験できるのか～自然実験が解き明かす人類史～**

ジャレド・ダイヤモンド、ジェイムズ・A.ロビンソン、小坂 恵理 著

慶應義塾大学出版会

ポリネシアの文化進化、アメリカ・メキシコ・ブラジルの銀行制度、フランス革命の影響...。幅広い分野の専門家たちが、それぞれのテーマについて比較史、自然実験で分析した 8 つの研究を収録する。

2018.6./ 272p,41p  
978-4-7664-2519-2  
本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/08/11



**志士から英霊へ～尊王攘夷と中華思想～(犀の教室)**

小島 毅 著

晶文社

幕末に尊皇攘夷を掲げた志士たちの実像は、為政者や時代の空気によって書き換えられる。志士から英霊への継続あるいは転換はどのようにおきたのかを論じる。「儒教が支えた明治維新」に続く新・維新論。

2018.6./ 256p  
978-4-7949-7036-7  
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/08/11



**医療 4.0～第 4 次産業革命時代の医療～**

加藤 浩晃 著

日経BP社

2030 年の医療の現場は、第 4 次産業革命で登場する人工知能や IoT などの技術革新によってどのように変わるのか? 「医療 4.0」を提唱する著者が、未来を見据える医師 30 人とともに、2030 年の医療を展望する。

2018.6./ 265p  
978-4-8222-5610-4  
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/08/11



### 蜂と蟻に刺されてみた〜「痛さ」からわかった毒針昆虫のヒミツ〜

ジャスティン・O.シュミット、今西 康子 著

白揚社

虫刺されの痛さを数値化した「シュミット指数」の生みの親が、ハチ・アリ 82 種に刺された体験談を交えながら、進化の視点からその防衛戦略をひもとく。毒針をもつ昆虫に刺されたときの痛さ一覧付き。

2018:6./ 366p

978-4-8269-0202-1

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/08/11



### 話の終わり

リディア・デイヴィス 著

作品社

年下の男との失われた愛の記憶を呼びさまし、それを小説に綴ろうとする女の情念を精緻きわまりない文章で描く。いっふう変わった短編の書き手として知られるリディア・デイヴィスによる初の長編小説。

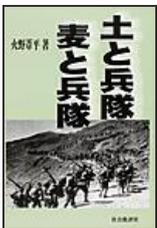
2010:11./ 273p

978-4-86182-305-3

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/08/11



### 土と兵隊 麦と兵隊

火野 葦平 著

社会批評社

アジア各地に従軍した著者が、1937 年 11 月、中国杭州湾北砂に敵前上陸し、嘉善・嘉興・湖州などへの進軍を描いた「土と兵隊」と、軍報道部に所属しながら 1938 年 5 月の徐州大会戦への従軍を描いた「麦と兵隊」を収録。

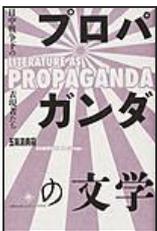
2013:5./ 229p

978-4-907127-02-2

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/08/11



### プロパガンダの文学〜日中戦争下の表現者たち〜

五味渕 典嗣 著

共和国/editorial republica

文学は芸術表現なのか、それとも軍・官の情報を宣伝・拡散するツールにすぎないのか？ 日中戦争の同時代に戦争や戦場を主題としたテキストを取り上げ、戦時下における<戦争の書きかた>について論じる。

2018:5./ 443p

978-4-907986-45-2

本体 ¥4,200+税



日本経済新聞 2018/08/11



### ある世捨て人の物語〜誰にも知られず森で 27 年間暮らした男〜

マイケル・フィンケル、宇丹 貴代実 著

河出書房新社

社会のしがらみをすべて捨てて、森で一人で生きていたい。20 歳の時から 27 年間、ほぼ誰とも会わず、アメリカのメイン州の森に一人きりで暮らしていた男に取材した書。人間にとっての孤独や自由、幸福とはなにかを考える。

2018:7./ 233p

978-4-309-20745-2

本体 ¥1,850+税



日本経済新聞 2018/08/11、読売新聞 2018/08/26



### 何が起きたのか?

ヒラリー・ロダム・クリントン、高山 祥子 著

光文社

ドナルド・トランプのような人間と大統領選を戦うとはどういうことか？ 憤怒、男性上位主義、ロシアの妨害…。アメリカで初めて主要政党の大統領候補となった女性、ヒラリー・ロダム・クリントンが、自身の強烈な体験を綴る。

2018:7./ 513p

978-4-334-96220-3

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/08/11、読売新聞 2018/08/26



**自民党本流と保守本流～保守二党ふたたび～**

田中 秀征 著  
講談社

この国の政治の中心には、巨大な空洞が存在する！ 自民党を自民党本流と保守本流という異質な 2 つの流れが合体したものとする認識に立ち、わが国の戦後政治を解明。この国の行方を見通す。『本』連載を改題・加筆し単行本化。

日本経済新聞 2018/08/18

2018:7./ 239p  
978-4-06-512284-0  
本体 ¥1,600+税



**誰のために 改版 新編・石光真清の手記(4)ロシア革命(中公文庫 い16-8)**

石光 真人 編  
石光 真清 著  
中央公論新社

世田谷で三等郵便局長を務めていた石光元陸軍少佐は、再び大陸に赴き満蒙貿易会社を設立する。そしてロシア革命が勃発、密命を受けた石光はアムールへと赴く。陸軍軍人の手記、完結。田宮虎彦らによる批評集、秘蔵写真も収録。

日本経済新聞 2018/08/18

2018:2./ 460p  
978-4-12-206542-0  
本体 ¥1,100+税



**俳句の五十年(中公文庫 た91-1)**

高浜 虚子 著  
中央公論新社

子規との出逢い、漱石との思い出、畏友碧梧桐への敬愛、「ホトギス」の経営苦難…。迷走と模索をし続けた日々と、森?外、幸田露伴、柳田國男らとの交遊を振り返る。1942年刊行の自伝を文庫化。

日本経済新聞 2018/08/18

2018:8./ 269p  
978-4-12-206626-7  
本体 ¥860+税



**IQ(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 465-1)**

ジョー・イデ、熊谷 千寿 著  
早川書房

LA の若き黒人探偵 IQ は、大物ラッパーから「謎の巨犬を使う殺し屋を探し出せ」という奇妙な仕事を請け負うことに。事件の謎を全力で追う IQ。そんな彼が探偵として生きる契機となった凄絶な過去とは…。

日本経済新聞 2018/08/18

2018:6./ 445p  
978-4-15-183451-6  
本体 ¥1,060+税



**プーと私(河出文庫 い41-3)**

石井 桃子 著  
河出書房新社

児童文学の世界に豊かな実りをもたらした作家・翻訳家、石井桃子の随筆集。「クマのプーさん」など名作の誕生秘話、バートン、フェージョンを訪ねる旅、欧米の児童文学と図書館を見て歩いた留学体験記などを収録。

日本経済新聞 2018/08/18

2018:4./ 250p  
978-4-309-41603-8  
本体 ¥740+税



**きょうのできごと、十年後(河出文庫 し6-9)**

柴崎 友香 著  
河出書房新社

10 年前、京都で引っ越しパーティーに居合わせた男女。30 代になった彼らが、今夜再会する。鴨川沿いのバルに集まった面々に、今日もさまざまな「できごと」が起きる。行定勲監督の書き下ろし小説「鴨川晴れ待ち」も収録。

日本経済新聞 2018/08/18

2018:8./ 211p  
978-4-309-41631-1  
本体 ¥680+税





**松竹と東宝～興行をビジネスにした男たち～(光文社新書 960)**

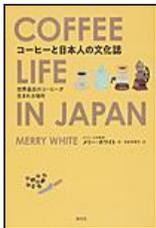
中川 右介 著  
光文社

劇場の売店の子である「松竹」創業者と、裕福な商家に生まれた慶應義塾卒の「宝塚」生みの親。対照的な両者が数十年のあいだ、しのぎを削ったことが、現在の繁栄につながり…。膨大な資料を読み解いて描いた新たな演劇史。

2018:8./ 392p  
978-4-334-04366-7  
本体 ¥900+税



日本経済新聞 2018/08/18



**コーヒーと日本人の文化誌～世界最高のコーヒーが生まれる場所～**

メリー・ホワイト、有泉 英美代 著  
創元社

日本の食文化に精通したアメリカの文化人類学者が独自の視点で描く、日本のコーヒーとカフェの文化誌。カフェの黎明期からの歴史をたどり、コーヒー職人への取材や現地フィールドワークを通して、現代都市風俗まで活写する。

2018:6./ 221p  
978-4-422-21018-6  
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/08/18



**ロシアと中国反米の戦略(ちくま新書 1345)**

廣瀬 陽子 著  
筑摩書房

ユーラシア連合、チャイナマネー、BRICS、上海協力機構、ロシアの軍事技術…。世界のリバランスが進むなか、両大国に接する日本はどうするべきか。気鋭の国際政治学者が、最新情報から激動の国際情勢を読み解く。

2018:7./ 254p  
978-4-480-07153-8  
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2018/08/18



**善と悪の経済学<続> 資本主義の精神分析**

トーマス・セドラチェック、オリヴァー・タンツァー、森内 薫、長谷川 早苗 著  
東洋経済新報社

経済の魂と精神は、いかに病んだのか。西洋文明における経済行為の発展とその特徴、実体経済と経済学、経済における躁うつ病の分析…。社会の極端な経済化の結果として生じた、経済システムの精神疾患的な側面を明らかにする。

2018:5./  
14p,379p,52p  
978-4-492-31506-4  
本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2018/08/18



**イーロン・マスクの世紀**

兼松 雄一郎 著  
日本経済新聞出版社

大胆な構想と冷静な判断で、テスラやスペース Xなどを率いる希代の起業家イーロン・マスク。彼の突出した企業群はいかにして生まれ得たのか。その背景にある構造を、日本経済新聞社の前シリコンバレー特派員が解説する。

2018:6./ 414p  
978-4-532-32211-3  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/08/18



**プルーストの美**

真屋 和子 著  
法政大学出版局

一度は小説の執筆を放棄した作家は、いかにして「文体」を見出したのか？ 文学、建築、音楽、そして美術評論家ラスキンの影響など、プルーストが、芸術作品の交響が織りなす壮麗な物語を生み出すに至るまでの軌跡を論じる。

2018:6./  
15p,276p,23p  
978-4-588-49513-7  
本体 ¥3,700+税



日本経済新聞 2018/08/18



### アメリカ太平洋軍の研究～インド・太平洋の安全保障～

土屋 大洋、大塚 海夫 著  
千倉書房

中国の海洋進出を受け、南シナ海、朝鮮半島、台湾海峡、沖縄を抱えるアメリカのアジア戦略とは。インド洋からアジア太平洋まで、地球の約 50%をカバーする地域での統合作戦軍の実像に迫る。

2018:7./ 8p,220p  
978-4-8051-1142-0  
本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2018/08/18



### 塚本邦雄の宇宙<1>

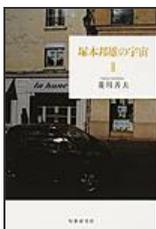
菱川 善夫 著  
短歌研究社

前衛短歌の旗手・塚本邦雄の没後、同時代を生きた盟友・菱川善夫が、自ら厳選した代表歌 500 首を深く、熱く、読み解き語る。朝日カルチャー札幌で開かれた講座を再構成。1 は、2006 年度の講義を収録。

2018:6./ 348p  
978-4-86272-578-3  
本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/08/18



### 塚本邦雄の宇宙<2>

菱川 善夫 著  
短歌研究社

前衛短歌の旗手・塚本邦雄の没後、同時代を生きた盟友・菱川善夫が、自ら厳選した代表歌 500 首を深く、熱く、読み解き語る。朝日カルチャー札幌で開かれた講座を再構成。2 は、2007 年度の講義を収録。

2018:6./ 376p  
978-4-86272-579-0  
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/08/18



### 評伝横井小楠～未来を紡ぐ人 1809-1869～

小島 英記 著  
藤原書店

幕末維新の激動の中で早くに西欧諸国の現実を見抜き、近代日本の歩むべき道を構想し提言した横井小楠。勝海舟や吉田松陰、後藤新平らに大きな影響を及ぼした大思想家の実像に迫る。

2018:6./ 332p  
978-4-86578-178-6  
本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/08/18



### 不在

彩瀬 まる 著  
KADOKAWA

長らく疎遠だった父が、死んだ。「明日香を除く親族は屋敷に立ち入らないこと」という不可解な遺言に娘の明日香は戸惑いを覚えつつ、父の遺した洋館に足を踏み入れるが…。愛なき世界の生き方を探る長篇小説。

2018:6./ 255p  
978-4-04-104910-5  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/08/18、朝日新聞 2018/08/25



### きょうのできごと 増補新版(河出文庫 し 6-1)

柴崎 友香 著  
河出書房新社

京都で開かれた引っ越し記念飲み会に集まった男女のせつない一夜を描く、映画化された本篇をはじめ、映画撮影の夜に迷いこんだ作者と登場人物が語る「きょうのできごと」のつづきのできごと、映画から生まれた番外篇を収録。

2018:7./ 221p  
978-4-309-41624-3  
本体 ¥620+税



日本経済新聞 2018/08/18、読売新聞 2018/08/19



### 冬将軍が来た夏

甘 耀明、白水 紀子 著  
白水社

幼稚園で働いていた「私」は、雇い主の息子にレイプされる。事件で深く傷ついた私のもとに、突然、終活中の祖母と5人の老女と1匹の老犬が現れ…。台湾中部の都市を舞台に繰り広げられる、ひと夏の愛と再生の物語。

2018:6./ 407p  
978-4-560-09635-2  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/08/18、毎日新聞 2018/08/19



### 最新プラットフォーム戦略～マッチメイカー～

デヴィッド・S.エヴァンス、リチャード・シュマレンジー、平野 敦士カール 著

朝日新聞出版

関係企業やグループを場(プラットフォーム)にのせることで、新しい事業のエコシステム(生態系)を構築する「プラットフォーム戦略」。ネットからリアルまで、様々な企業の成功・失敗事例を通して、戦略の構築方法を解説。

2018:5./ 333p  
978-4-02-331650-8  
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/08/25



### 縄文土器・土偶(角川ソフィア文庫 I150-1)

井口 直司 著  
KADOKAWA

縄文人はどんな人たちだったのか? その謎を解く鍵は、彼らが使った道具にあった! 縄文の主要な土器・土偶を、国宝全6点を含む100点以上の図版と、最新の科学的知見を盛り込んだ解説で紹介する。

2018:6./ 219p  
978-4-04-400404-0  
本体 ¥1,160+税



日本経済新聞 2018/08/25



### 古典基礎語辞典

大野 晋 編  
角川学芸出版

「古事記」「万葉集」「源氏物語」など上代・中古の主要な古典から、基礎となる約3200語を選出し、語源や類義語、語の成り立ちに注目して解説。語源と深く関係があると思われる外国語も掲出する。

2011:10./ 14p,1,409p  
978-4-04-621964-0  
本体 ¥6,500+税



日本経済新聞 2018/08/25



### 人生、60歳まではリハーサル

NORA 著  
主婦の友社

悩んだ人ほど本物のポジティブになれる。ラテングラミー賞、国連平和賞、米国ビルボード誌11週連続1位…。サルサブームのトップランナーが、音楽活動35年で出会った究極の言葉や波乱に満ちた半生を綴る。

2018:7./ 318p  
978-4-07-433176-5  
本体 ¥1,380+税



日本経済新聞 2018/08/25



### 狗養童子の島

飯嶋 和一 著  
小学館

太古から島の奥深く「聖域」を抱いてきた流刑の地に、幕末、島民を脅かす「病毒」が次々に入り込んできた。追いつめられた島民たちは、危険な道へ一気に足を踏み入れた…。『STORY BOX』連載を単行本化。

2015:1./ 555p  
978-4-09-386344-5  
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/08/25



**出星前夜(小学館文庫 い25-6)**

飯嶋 和一 著  
小学館

寛永14年、松倉家入封以来20年、無抵抗をつらぬいてきた旧キリシタンの土地・島原で初めての武装蜂起が起こった。幕藩体制に抗った、誇り高き海民・土豪らの絶望的な戦いを描く。

日本経済新聞 2018/08/25

2013:2./ 714p  
978-4-09-408796-3  
本体 ¥876+税



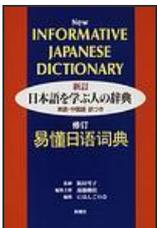
**不明解日本語辞典(新潮文庫 た-86-7)**

高橋 秀実 著  
新潮社

「普通」って何? 「ちょっと」って何? 「っていうか」って何? あまたの辞典類の頁をめくり、日本語の持つあいまいさ、難解さに真正面から果敢に挑んだ著者が、32語を手掛かりに言葉の海へ漕ぎ出す辞典風エッセイ。

日本経済新聞 2018/08/25

2018:6./ 349p  
978-4-10-133557-5  
本体 ¥590+税



**日本語を学ぶ人の辞典～英語・中国語訳つき～ 新訂**

阪田 雪子、遠藤 織枝、にはんごの会企業組合 編  
阪田 雪子、遠藤 織枝 著  
新潮社

日本語を学習する人のための日本語辞典。見出し語として約11000語収録。それぞれの語に英語訳と中国語訳を付し、擬音語・擬態語・慣用語・ことわざなども掲載。2010年11月改定の常用漢字表に対応。

日本経済新聞 2018/08/25

2011:3./ 14,1,103p  
978-4-10-730216-8  
本体 ¥3,800+税



**パクチャーとアジア飯**

阿古 真理 著  
中央公論新社

「Hanako」「dancyu」など、時代を映しだしてきた雑誌や、アジアを舞台にした映画、小説を読み解き、日本にアジア飯を広めた移民社会と日本人に丹念に取材。日本人を虜にしたパクチャーとアジア飯の魅力の謎に迫る。

日本経済新聞 2018/08/25

2018:8./ 253p  
978-4-12-005105-0  
本体 ¥1,600+税



**奇跡の六番勝負～サラリーマンがプロ棋士になった日～(河出文庫 ふ17-1)**

古田 靖 著  
河出書房新社

一度はプロ棋士への道を断たれたものの、アマチュアとしての活動を続け、紆余曲折の末プロ入りを果たした瀬川晶司。彼を支えた将棋を愛する人々が成し遂げた、奇跡のノンフィクション。補記を加えて文庫化。

日本経済新聞 2018/08/25

2018:8./ 256p  
978-4-309-41626-7  
本体 ¥780+税



**塗りつぶされた町～ヴィクトリア期英国のスラムに生きる～**

サラ・ワイズ、栗原 泉 著  
紀伊國屋書店

19世紀末、繁栄のさわみにあった大英帝国の首都ロンドンに、ニコルと呼ばれるスラムがあった。都市型スラムの原型ともいわれるこの地区はいかに生まれ、消えていったのか。ニコルで活動した様々な人達と共にその歴史を描く。

日本経済新聞 2018/08/25

2018:6./ 461p  
978-4-314-01161-7  
本体 ¥2,700+税





**太平洋戦争日本語諜報戦～言語官の活躍と試練～(ちくま新書 1347)**

武田 珂代子 著  
筑摩書房

太平洋戦争の対日諜報戦から終戦後まで活躍した、連合軍の言語官たち。彼らはどうに動員、訓練されたのか。各国の言語官養成の実際、戦地での活躍、二世たちの葛藤…。貴重な記録から、日本語諜報の実像に迫る。

2018:8./ 231p  
978-4-480-07162-0  
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2018/08/25



**50のキーワードで読み解く経済学教室～社会経済物理学とは何か?～**

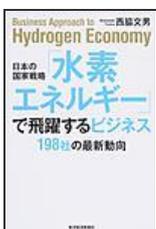
青木 正直、青山 秀明、有賀 裕二、吉川 洋 著  
東京図書

社会経済物理学への入門書。国際的に活躍する気鋭の研究者たちが、50のキーワードを通して現代の社会・経済の危機に対処するための基礎的なアイデアから初歩的な解析手段に至るまでを、わかりやすく説明する。

2011:5./ 9,461p  
978-4-489-02101-5  
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/08/25



**日本の国家戦略「水素エネルギー」で飛躍するビジネス～198社の最新動向～**

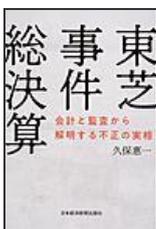
西脇 文男 著  
東洋経済新報社

水素を化石燃料に代わる基幹エネルギーとして活用する「水素社会」の実現に向けて、世界は動き始めている。2020年から急成長を見込む「水素エネルギー」市場の動向を先取りして紹介する。企業動向一覧なども収録。

2018:7./ 284p  
978-4-492-80087-4  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/08/25



**東芝事件総決算～会計と監査から解明する不正の実相～**

久保 恵一 著  
日本経済新聞出版社

パソコンのバイセル取引、企業結合の会計処理、取得価格配分手続…。原子力事業関連を中心に、不正会計の発覚から現在までの3年間に東芝で起こった出来事を、公認会計士である著者の目線から解説する。

2018:6./ 8p,350p  
978-4-532-32221-2  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/08/25



**アフリカ眠り病とドイツ植民地主義～熱帯医学による感染症制圧の夢と現実～**

磯部 裕幸 著  
みすず書房

近代医学はいかにして「原住民の福祉」に貢献できるのか。ドイツが植民地統治を本格化させた20世紀初頭、アフリカである感染症が猛威を振るった。帝国ドイツの葛藤から、医師の植民地責任や、科学と政治の関係を論じる。

2018:7./ 328p,29p  
978-4-622-08599-7  
本体 ¥5,400+税



日本経済新聞 2018/08/25



**新世界秩序～21世紀の“帝国の攻防”と“世界統治”～**

ジャック・アタリ、山本 規雄 著  
作品社

19世紀はイギリスが、20世紀はアメリカが支配した世界を、21世紀は誰が支配するのか? 世界秩序の歴史的考察をもとに、今後の世界情勢の見通し、そして21世紀の新世界秩序を大胆に構想する。

2018:6./ 357p  
978-4-86182-702-0  
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/08/25



**世界推理短編傑作集<1> 新版(創元推理文庫 M ン 1-1)**

エドガー・アラン・ポオ、江戸川 乱歩 編  
エドガー・アラン・ポオ 著

東京創元社

珠玉の推理短編を年代順に集成し、1960年の初版以来、版を重ね現在に至る傑作アンソロジーをリニューアル。1 は、“推理小説の祖”ポオから、ドイルを経て 20 世紀初頭のフットレルまで、最初期の半世紀を俯瞰する。

2018:7./ 403p  
978-4-488-10007-0  
本体 ¥960+税



毎日新聞 2018/08/04



**錆びた滑車(文春文庫 わ 10-5)**

若竹 七海 著  
文藝春秋

尾行中の老女梅子が怪我をさせたミツエの持ち家のアパートに住むことになった、女探偵の晶。交通事故で重傷を負い、記憶を失ったミツエの孫ヒロトは、なぜ自分がその場所にいたのか調べてほしいと晶に依頼し…。

2018:8./ 376p  
978-4-16-791120-1  
本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/08/04、朝日新聞 2018/08/18



**経済学は悲しみを分かち合うために～私の原点～**

神野 直彦 著  
岩波書店

人間を幸福にする経済とは？ 新自由主義に抗い、人間のための経済を提唱する著者の思想はどのようにして育まれてきたのか。自らの人生、偉大な師や友人らとの交流などを振り返りながら、経済学の使命を根源から問う。

2018:6./ 8p,252p  
978-4-00-061277-7  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/08/05



**万葉集<5>(岩波文庫 黄版 5-5)**

岩波書店

天皇から名もなき男女までの、人々の心のかたちを映し出す最古の歌集「万葉集」に、現代語訳と注釈を付す。5 には、「巻 18-20」を収め、越中遊覧の歌、防人の歌、正月賀歌などを掲載する。

2015:3./ 371p,132p  
978-4-00-300058-8  
本体 ¥1,160+税



毎日新聞 2018/08/05



**物質的恍惚(岩波文庫 赤 N509-1)**

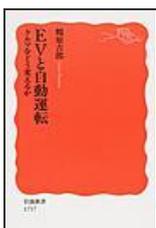
ル・クレジオ 著  
岩波書店

既知と未知の、生成と破壊の、誕生前と死後の円環的合一において成就する裸形の詩(ポエジー)。日常性が剥離して、エクリチュールの始原にして終焉の姿が顕現する、ル・クレジオ文学の精髓。

2010:5./ 461p  
978-4-00-375107-7  
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/08/05



**EVと自動運転〜クルマをどう変えるか〜(岩波新書 新赤版 1717)**

鶴原 吉郎 著  
岩波書店

「電動化」「自動化」「コネクテッド化」…。いま、クルマの世界に何が起きているのか。そしてクルマはこれからどのように変わっていくのか。衝撃の未来予想図と開発の最前線に迫る。

2018:5./ 9p,203p  
978-4-00-431717-3  
本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/08/05



**ゲンバクとよばれた少年(世の中への扉)**

中村 由一、渡辺 考、宮尾 和孝 著  
講談社

長崎に原爆が落とされ、何が起こったのか？ 被爆者であり被差別部落出身者でもあることで、つらい少年時代を過ごした著者が、自身の体験を伝える。NHK・ETV 特集「原爆と沈黙?長崎浦上の受難?」の内容を書籍化。

2018:7./ 155p  
978-4-06-221034-8

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/08/05



**海賊の日本史(講談社現代新書 2483)**

山内 譲 著  
講談社

藤原純友、松浦党、倭寇、村上一族…。歴史上の著名な海賊勢力の実像や、彼らが果たした役割などについて解説。また、古代から中世に至る海賊の時代全体を振り返り、海賊像の変化や、海賊が日本の社会に残したものを考える。

2018:6./ 241p  
978-4-06-511961-7

本体 ¥840+税



毎日新聞 2018/08/05



**安岡章太郎戦争小説集成(中公文庫 や1-2)**

安岡 章太郎 著  
中央公論新社

満洲北部の孫呉に応召した安木加介。この万年二等兵の眼を通して軍隊生活をユーモアを交えて描き出した長篇「遁走」をはじめ、「銃」「美しい瞳」などの短篇を収録。開高健との対談「戦争文学と暴力をめぐって」を併録する。

2018:6./ 345p  
978-4-12-206596-3

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/08/05



**自動車会社が消える日(文春新書 1147)**

井上 久男 著  
文藝春秋

クルマがスマホ化する近未来。自動車産業の頂点に君臨する完成車メーカーが、IT企業や巨大部品メーカーの下請けになる日が来るのか。自動車産業を取り巻く状況と日本の自動車会社を中心に、プレイヤーたちの現状を解説する。

2017:11./ 228p  
978-4-16-661147-8

本体 ¥830+税



毎日新聞 2018/08/05



**評註柳田国男全短歌**

来嶋 靖生 著  
河出書房新社

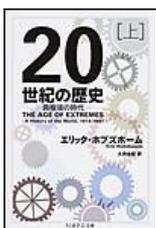
柳田国男の歌についての調査や資料をまとめる。松岡国男であった時期の作や、親しい友人に宛てた手紙に記された歌、没後に発見された歌など約 300 首を収録する。柳田民俗学と短歌の関連を解明した三部作完結篇。

2018:5./ 204p  
978-4-309-92145-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/08/05



**20世紀の歴史～両極端の時代～<上>(ちくま学芸文庫 ホ15-2)**

エリック・ホブズボーム、大井 由紀 著  
筑摩書房

イギリスを代表する歴史家が、自身の生涯と重ねながら著した 20 世紀史の傑作を新訳。上は、第 1 章「総力戦の時代」?第 9 章「繁栄の時代」を収録する。

2018:6./ 571p  
978-4-480-09866-5

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/08/05



**20 世紀の歴史～両極端の時代～<下>(ちくま学芸文庫 ホ 15-3)**

エリック・ホブズボーム 著  
筑摩書房

イギリスを代表する歴史家が、自身の生涯と重ねながら著した 20 世紀史の傑作を新訳。下は、第 10 章「社会革命-1945-90 年」?第 19 章「新しいミレニアムに向けて」を収録する。

2018:7./ 662p  
978-4-480-09867-2  
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/08/05



**EV シフト～決定版～**

風間 智英 著  
東洋経済新報社

電気自動車(EV)が世界を変える! EV シフトについて、その概観をとらえた上で、地域別の動向、各自動車メーカーの対応、課題とビジネスチャンス等を解説。100 年に一度の大変革期を迎える自動車産業を俯瞰する。

2018:3./ 245p  
978-4-492-76241-7  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/08/05



**ジハード大陸～「テロ最前線」のアフリカを行く～**

服部 正法 著  
白水社

アルシャバブ、アンサル・ディーン、ボコ・ハラムなど、アフリカ各地で勢力を伸ばすジハードイストたち。アフリカ大陸南端から北欧まで 4 年に及ぶ徹底した現場取材から、彼らの真の姿に肉迫した戦慄のルポ。

2018:2./ 312p  
978-4-560-09597-3  
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/08/05



**クマのプーさん創作スケッチ～世界一有名なクマ誕生のひみつ～**

ジェイムズ・キャンベル、小田島 恒志、小田島 則子 著  
東京美術

作家ミルンと画家シェパードが協力して生み出した 4 冊のクマのプーさんの本は、いまなお世界中で愛されている。初公開を含むシェパードのスケッチや下絵を紹介し、プーさんの創作過程に新たな角度から光を当てる。

2018:6./ 159p  
978-4-8087-1096-5  
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/08/05



**農山村からの地方創生**

小田切 徳美、尾原 浩子 著  
筑波書房

今求められていることは、地域の危機の対抗軸として生まれてきた多面的で、多様な地域づくりの取り組みを「農山村からの地方創生」として見つめ、今後の可能性をきちんと評価すること。農山村の現場における動きをまとめる。

2018:4./ 11p,175p  
978-4-8119-0533-4  
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/08/05



**胃袋の近代～食と人びとの日常史～**

湯澤 規子 著  
名古屋大学出版会

一膳飯屋、残飯屋、共同炊事など、都市の雑踏や工場の喧騒のなかで始まった外食の営みを活写。「人びと」と「食」をめぐる問題を中軸に据え、「胃袋」を通して<日本の近代>という時代を明らかにする。

2018:6./ 5p,325p,18p  
978-4-8158-0916-4  
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2018/08/05



**歩く、見る、待つ〜ペドロ・コスタ映画論講義〜**

ペドロ・コスタ、土田 環 著  
ソリレス書店

東京造形大学、桑沢デザイン研究所、映画美学学校で行われた、映画監督ペドロ・コスタの集中講義の記録。映画は単なる美意識や、映画的知识や、技術によって作られるのではないことを語る。

毎日新聞 2018/08/05

2018.5./ 183p  
978-4-908435-00-3  
本体 ¥1,800+税



**原民喜〜死と愛と孤独の肖像〜(岩波新書 新赤版 1727)**

梯 久美子 著  
岩波書店

「夏の花」で知られる作家・詩人、原民喜。死の想念にとらわれた幼少期から、妻の愛情に包まれて暮らした青年期、その死まで。生き難さを抱え、傷ついてもなお純粹さをつらぬいた稀有な生涯を描く。略年譜も収録。

毎日新聞 2018/08/05、東京・中日新聞 2018/08/12

2018.7./ 3p,275p  
978-4-00-431727-2  
本体 ¥860+税



**右ハンドル(群像社ライブラリー 40)**

ワシーリイ・アフチェンコ 著  
群像社

ソ連解体後、ロシアの極東に陸揚げされた大量の日本の中古車は、極東の民に愛されながらも、中央政府の圧力で生きる場を失っていく…。右ハンドル全盛期のウラジオストクが辿った運命を、地元作家が語るドキュメンタリー小説。

毎日新聞 2018/08/05、読売新聞 2018/08/26

2018.6./ 331p  
978-4-903619-88-0  
本体 ¥2,000+税



**宰相鈴木貫太郎の決断〜「聖断」と戦後日本〜(岩波現代全書 069)**

波多野 澄雄 著  
岩波書店

最後の戦時宰相・鈴木貫太郎はなぜ「聖断」を選んだか? 2 発の原爆とソ連侵攻を受けて、ポツダム宣言はいかに受諾されたか? 終戦時の鈴木は老いて指導力を欠いていたという評価に見直しを迫る、新たな終戦歴史。

毎日新聞 2018/08/12

2015.7./ 7p,268p  
978-4-00-029169-9  
本体 ¥2,400+税



**現代社会はどこに向かうか〜高原の見晴らしを切り開くこと〜(岩波新書 新赤版 1722)**

見田 宗介 著  
岩波書店

曲がり角に立つ現代社会は、そして人間の精神は、今後どのような方向に向かうだろうか。斬新な理論構築と、新たなデータに基づく徹底した分析のもとに、巨大な問いに改めて応答する。

毎日新聞 2018/08/12

2018.6./ 10p,162p  
978-4-00-431722-7  
本体 ¥760+税



**陰謀の日本中世史(角川新書 K-196)**

呉座 勇一 著  
KADOKAWA

本能寺の変に黒幕あり!? 関ヶ原は家康の陰謀!? 義経は陰謀の犠牲者!? 史上有名な陰謀をたどりつつ、陰謀論の誤りを最新学説で徹底論破。陰謀論の法則も明らかにする。

毎日新聞 2018/08/12

2018.3./ 343p  
978-4-04-082122-1  
本体 ¥880+税





**鬼と日本人(角川ソフィア文庫 J101-5)**

小松 和彦 著  
KADOKAWA

雷神、酒吞童子、茨木童子、節分の鬼、ナマハゲ…。いかにして鬼は私たちの精神世界に住み続けてきたのか。鬼とはいったい何者なのか。日本の「闇」の歴史の主人公の正体に迫る。

2018:7./ 269p  
978-4-04-400402-6  
本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/08/12



**紫陽花舎随筆(講談社文芸文庫 か X1)**

鏑木 清方 著  
講談社

鎌倉に永く暮らした鏑木清方は、明治から昭和まで活躍した近代日本を代表する日本画家であり、名随筆家でもあった。失われた市井の人々の暮らしへの尽きることのない愛情を、美しく流麗な文章で綴った珠玉の随筆集。

2018:7./ 294p  
978-4-06-512307-2  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/08/12



**原爆～広島を復興させた人びと～**

石井 光太 著  
集英社

広島平和記念資料館初代館長・長岡省吾、広島市長・浜井信三、建築家・丹下健三…。原爆投下後の広島を蘇らせた人びとに光を当てたノンフィクション。『すばる』小説すばる』掲載を加筆・修正し、大幅に書き下ろしを加える。

2018:7./ 317p  
978-4-08-771150-9  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/08/12



**イケズの構造(新潮文庫)**

入江 敦彦 著  
新潮社

毎日新聞 2018/08/12

2007:7./ 186p  
978-4-10-132271-1  
本体 ¥430+税



**怖いこわい京都(新潮文庫)**

入江 敦彦 著  
新潮社

毎日新聞 2018/08/12

2010:5./ 349p  
978-4-10-132273-5  
本体 ¥550+税



**「終戦」の政治史～1943-1945～**

鈴木 多聞 著  
東京大学出版会

「終戦派」はなぜ「継戦」を容認し、「継戦派」はなぜ「終戦」を受容したのか。第二次世界大戦末期の日本の政治史を、戦争終結研究の観点から分析。戦争を終わらせることへの苦悩を膨大な史料から実証的に描き出す。

2011:2./ 6,244,6p  
978-4-13-026225-5  
本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2018/08/12



### 終戦史～なぜ決断できなかったのか～

吉見 直人 著  
NHK出版

すべて陸軍が悪かったのか? 指導者たちは本当にソ連参戦を知らなかったのか? 膨大な資料と証言を読み解き、いまだ数多くの謎が残る終戦期の「内幕」に迫る。NHKスペシャルをもとに書籍化。

2013:7./ 397p  
978-4-14-081610-3  
本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2018/08/12



### ホーキング、最後に語る～多宇宙をめぐる博士のメッセージ～

スティーヴン・W.ホーキング、トマス・ハートツホ、佐藤 勝彦、白水 徹也、白水 徹也、松井 信彦 著  
早川書房

2018年3月に亡くなったホーキング博士の最終論文の全訳と共著者ハートツホへのインタビューを収録。ホーキングと個人的に?がりのあった日本の物理学者による解説も掲載する。

2018:7./ 92p  
978-4-15-209788-0  
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/08/12



### 八幡炎炎記

村田 喜代子 著  
平凡社

炎々と天を焦がす製鉄の町・北九州八幡で繰り広げられる少女の物語。敗戦の年に生を享けたヒナ子は、複雑な家庭事情のなかで、祖父母のもと、焼け跡に遅く、土筆のように育ってゆく…。『こころ』連載を単行本化。

2015:2./ 263p  
978-4-582-83683-7  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/08/12



### 火環(ひのわ)～八幡炎炎記 完結編～

村田 喜代子 著  
平凡社

炎々と天を焦がす製鉄の町・北九州八幡で繰り広げられる少女の物語。中学生のヒナ子は製鉄の街を飛び出し、映画の世界を夢見て密かに上京をもくろむが…。完結編。『こころ』連載を単行本化。

2018:5./ 310p  
978-4-582-83773-5  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/08/12



### ヒトラーとUFO～謎と都市伝説の国ドイツ～(平凡社新書 882)

篠田 航一 著  
平凡社

街やインターネットに都市伝説が溢れかえるドイツ。ヒトラー生存説、ナチスと宇宙開発、フリーメーソンとイルミナティ、ハーメルンの笛吹き男、人狼伝説など、自己増殖するドイツの都市伝説を、元ベルリン特派員が追う。

2018:6./ 199p  
978-4-582-85882-2  
本体 ¥760+税



毎日新聞 2018/08/12



### 忘れられない祈りの聖地

富井 義夫 著  
山と溪谷社

教会、モスク、寺院、巡礼地。強烈に心に残る穏やかで、荘厳なる建造物やミサの光景…。祈りの力により存在する世界の美しき場所「聖地」の、息をのむほどの圧倒的建造物、高揚感に包まれる人々の姿を写し撮った写真集。

2018:7./ 191p  
978-4-635-55018-5  
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/08/12



### 常世の花 石牟礼道子

若松 英輔 著  
叢書書房

人間を超え、生類へと広がる世界を見つめ続けた石牟礼道子。数々の名著を遺して世を去った作家が、生涯を賭して闘ったものとは何だったのか。親しく交流した批評家が、その精髓に迫る。石牟礼道子との対談も収録。

毎日新聞 2018/08/12

2018:4./ 175p  
978-4-7505-1546-5  
本体 ¥1,500+税



### 国道の謎～思わず訪ねてみたくなる「酷道・珍道」大全～(イースト新書 Q Q045)

風来堂 編  
イースト・プレス

なぜ、「アーケード街」や「砂利道」が国道なのか? そもそも 459 路線しかないのに、なぜ 507 号まであるのか? 誰も調べなかった細かすぎる国道の雑学をマニアックに掘り起こす。

毎日新聞 2018/08/12

2018:5./ 253p  
978-4-7816-8045-3  
本体 ¥880+税



### ルポ保育格差(岩波新書 新赤版 1712)

小林 美希 著  
岩波書店

どの保育園に入るかで、その子の一生が決まると言っても過言ではない。園の中でどのような保育が行われているのか? 園によって大きな違いがあるのはなぜなのか? 保育格差を取り上げた迫力のレポート。

毎日新聞 2018/08/19

2018:4./ 10p,240p  
978-4-00-431712-8  
本体 ¥840+税



### ベラスケス～宮廷のなかの革命者～(岩波新書 新赤版 1721)

大高 保二郎 著  
岩波書店

17 世紀宮廷社会を生きながら、近現代を先取りするような「絵画の革命者」となったベラスケス。その生涯と創造の軌跡を辿りつつ、作品が誕生したトポスと機能、その時代や社会の姿、画家の人間性と芸術の真実を映し出す。

毎日新聞 2018/08/19

2018:5./ 12p,269p,3p  
978-4-00-431721-0  
本体 ¥960+税



### サリン事件 死刑囚 中川智正との対話

アンソニー・トゥー 著  
KADOKAWA

松本サリン事件・東京地下鉄サリン事件で事件解明のきっかけを作った世界的毒物学者は、サリン製造の中心人物・中川智正と面会を重ねた。サリンだけではない、オウムの恐ろしい兵器製造の実態を明らかにする。

毎日新聞 2018/08/19

2018:7./ 227p  
978-4-04-102970-1  
本体 ¥1,400+税



### 現代文士廿八人(講談社文芸文庫 な U1)

中村 武羅夫 著  
講談社

文士の素顔はいかなるものか? かつて読者の興味を背に、アポなし突撃訪問を敢行した若者がいた。好悪まる出しの人物評は大人気に。花袋、独歩、漱石、藤村...。文豪たちが生身の<人間>として躍動する、探訪記の傑作。

毎日新聞 2018/08/19

2018:6./ 217p  
978-4-06-511864-1  
本体 ¥1,600+税





**小川未明童話集 改版(新潮文庫)**

小川 未明 著  
新潮社

数ページのお話のそれぞれがあなたの心の新たなページになる。とっても優しいのにとっても意地悪。そんな 25 編の小川未明の童話は日本が世界に誇れるすばらしい作品です。

毎日新聞 2018/08/19

2003:5./ 257p  
978-4-10-110001-2  
本体 ¥460+税



**アフター・ビットコイン～仮想通貨とブロックチェーンの次なる覇者～**

中島 真志 著  
新潮社

ビットコインは「終わった」。ブロックチェーンは「これからが本番」。日銀出身の決済システムの第一人者が、ゴールドマン・サックスや三菱東京 UFJ 銀行、そして各国の中央銀行が繰り広げる次なる覇権争いを鮮やかに描く。

毎日新聞 2018/08/19

2017:10./ 285p  
978-4-10-351281-3  
本体 ¥1,600+税



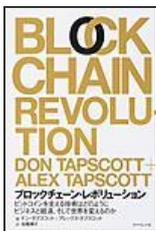
**ガルヴェイアスの犬(CREST BOOKS)**

ジョゼ・レイス・ペイショット 著  
新潮社

村の匂いが変わったことを、犬たちだけは覚えていた。巨大な物体が落ちてきて騒然とする村と、そこに暮らす人々の色とりどりの悲喜劇を描いた、現代ポルトガル文学を牽引する作家の長篇小説。

毎日新聞 2018/08/19

2018:7./ 286p  
978-4-10-590149-3  
本体 ¥1,900+税



**ブロックチェーン・レボリューション～ビットコインを支える技術はどのようにビジネスと経済、そして世界を変えるのか～**

ドン・タプスコット、アレックス・タプスコット、高橋 璃子 著  
ダイヤモンド社

個人のプライバシーや安全が守られ、データが自分自身のものになる世界。大企業が技術を独占することなく、誰もがテクノロジーの発展に参加できる世界。ブロックチェーンが可能にする新たな動きを様々な分野から紹介する。

毎日新聞 2018/08/19

2016:12./ 407p  
978-4-478-06996-7  
本体 ¥2,400+税



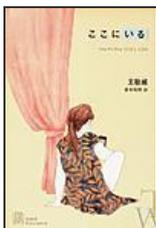
**デジタル・ゴールド～ビットコイン、その知られざる物語～**

ナサニエル・ポッパー 著  
日本経済新聞出版社

ブロックチェーンを生み出した謎の日本人、政府やウォール街に戦いを挑もうとした理想主義者、「デジタル・ゴールド」のポテンシャルに目を付けたシリコンバレーの起業家・投資家たち…。ビットコイン揺籃期の狂騒を描く。

毎日新聞 2018/08/19

2016:9./ 474p  
978-4-532-17601-3  
本体 ¥2,800+税



**ここにいる(エクス・リブリス)**

王 聡威 著  
白水社

幼い娘を抱える 30 代の平凡な主婦・美君(メイジュン)は、夫や親、同僚、友人たちとの関係をなぜ次々に断っていったのか。2013 年に起こった大阪市母子餓死事件をモチーフに台湾文学界の異才が描く「現代の肖像」。

毎日新聞 2018/08/19

2018:8./ 249p  
978-4-560-09270-5  
本体 ¥2,800+税





### 走り続ける力

山中 伸弥 著  
毎日新聞出版

iPS 細胞による再生医療の実現に向け、苦闘する日々。患者を救うべく、山中伸弥は今日も走り続ける。ノーベル賞科学者の栄光と挫折を、山中伸弥が自ら語る。『毎日新聞』連載に対談等を加え書籍化。

毎日新聞 2018/08/19

2018.7./ 206p  
978-4-620-32497-5  
本体 ¥1,300+税



### 世界の難民をたすける30の方法

滝澤 三郎 著  
合同出版

複雑な難民問題をできるだけわかりやすく解説した本。難民生活の実際や当事者の声を通じて難民問題を理解し、支援の具体的なアクションを起こすためのヒントを伝える。

毎日新聞 2018/08/19

2018.5./ 143p  
978-4-7726-1353-8  
本体 ¥1,480+税



### 数字が明かす小説の秘密～スティーヴン・キング、J・K・ローリングからナボコフまで～

ベン・ブラット、坪野 圭介 著  
DU BOOKS

古典文学から、ベストセラー小説、ファンフィクションまで、膨大なテキストを解析して数値化し、ジェンダーの偏りや文章のテクニック、名作の法則など、小説にまつわるさまざまな「ルール」や「思い込み」を検証する。

毎日新聞 2018/08/19

2018.7./ 18p,414p  
978-4-86647-065-8  
本体 ¥2,200+税



### 武満徹の電子音楽

川崎 弘二 著  
アルテスパブリッシング

生涯を通じてあらゆるメディアを横断し、越境し、格闘しつつ作曲家としての創作の歩みを進めていった武満徹。1948年から1996年までの創作の軌跡を、電子テクノロジーの側面から辿る。『アルテス』連載を単行本化。

毎日新聞 2018/08/19、読売新聞 2018/08/26

2018.7./ 1,157p  
978-4-86559-185-9  
本体 ¥12,000+税



### 人間の解剖はサル解剖のための鍵である

吉川 浩満 著  
河出書房新社

「人間」ってなんだっけ？ 人工知能、ゲノム編集、認知バイアス、人新世、利己的遺伝子…。人間にかかわる新しい科学と技術を通して、現在生じている人間観の変容について考察する。インタビュー、作品評なども収録。

毎日新聞 2018/08/19、日本経済新聞 2018/08/25

2018.7./ 355p  
978-4-309-02708-1  
本体 ¥2,200+税



### 虚子は戦後俳句をどう読んだか～埋もれていた「玉藻」研究座談会～

筑紫 磐井 著  
深夜叢書社

『玉藻』誌上で昭和27年から7年あまり続いた連載、「研究座談会」での高浜虚子の全発言を収録。ホトギス外部作家たちの作品批評など、虚子最晩年の俳句に対する考えを知る上での貴重な資料。

毎日新聞 2018/08/20

2018.8./ 291p  
978-4-88032-447-0  
本体 ¥2,700+税





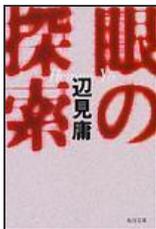
**悪玉伝**

朝井 まかて 著  
KADOKAWA

大阪の炭問屋の跡継ぎ問題。噂は江戸にまで届き、将軍・徳川吉宗や寺社奉行・大岡越前守忠相の耳に入る一大事に。謂れなき罪に問われた吉兵衛は、己の信念を貫くため、大勝負に挑む。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2018/08/26

2018:7./ 325p  
978-4-04-106919-6  
本体 ¥1,600+税



**眼の探索(角川文庫)**

辺見 庸 著  
角川書店

毎日新聞 2018/08/26

2001:3./ 301p  
978-4-04-341706-3  
本体 ¥514+税



**水の透視画法(集英社文庫 へ1-1)**

辺見 庸 著  
集英社

突然の大地震と大津波、眼にしたことがないそら恐ろしい光景。それは結末ではなく新たな始まりなのか。3.11 を予見していた著者による、見えざる全体主義にからめとられた現代社会を抉る、黙示録的文明批評。

毎日新聞 2018/08/26

2013:2./ 342p  
978-4-08-745035-4  
本体 ¥680+税



**CGで甦る江戸庶民の暮らし～傘張り職人、唐辛子売りなど職業別・長屋の内部、男女混浴だった「湯屋」まで完全再現!～(サライ・ムック)**

小学館

長屋生活、食生活、面白商売、巨大百貨店と金融業、大衆浴場、娯楽…。江戸庶民の暮らしをCGでリアルに再現。落語や歴史小説がもっと楽しめるようになる知識が満載。江戸で流行していた食べ物や飲食店を描いた絵双六付き。

毎日新聞 2018/08/26

2018:8./ 128p  
978-4-09-103554-7  
本体 ¥1,700+税



**神社崩壊(新潮新書 777)**

島田 裕巳 著  
新潮社

神社とはどのような場所で、何を祀っているのか。その収入源や経済格差、神社本庁の正体と歪な権力構造、「日本会議」との関係など、御簾の裏に隠された“暗部”を宗教学者が炙り出す。

毎日新聞 2018/08/26

2018:8./ 221p  
978-4-10-610777-1  
本体 ¥760+税



**炎と怒り～トランプ政権の内幕～**

マイケル・ウォルフ、関根 光宏、藤田 美菜子 著  
早川書房

2017年1月の就任以来、世界を振り回してきたアメリカのトランプ大統領。1年半にわたる200件以上の関係者取材をもとに、驚くほど政策を知らない大統領の姿と、政権の知られざる内情を描き出す。

毎日新聞 2018/08/26

2018:2./ 493p  
978-4-15-209756-9  
本体 ¥1,800+税





### 指導者とは(文春学藝ライブラリー)

リチャード・ニクソン、徳岡 孝夫 著  
文藝春秋

チャーチル、ドゴール、マッカーサー、吉田茂…。第二次大戦後の時代を率いた世界の指導者たちの素顔とは？ 権力の栄光と挫折を知り尽くした米大統領だから書けた、20世紀リーダー論。

2013.12./ 473p  
978-4-16-813009-0  
本体 ¥1,660+税



毎日新聞 2018/08/26



### ロビンソン・クルーソー(光文社古典新訳文庫 KA テ 5-1)

デフォー 著  
光文社

無人島に漂着したロビンソンは、住居建設、家畜の飼育、麦の栽培、パン焼きなど、限られた資源を活用して 28 年も暮らすことになり…。創意工夫と不屈の精神で生き抜いた男の、波瀾の人生を描く。

2018.8./ 587p  
978-4-334-75382-5  
本体 ¥1,240+税



毎日新聞 2018/08/26



### 社会は変えられる～世界が憧れる日本へ～

江崎 禎英 著  
国書刊行会

健康・医療分野で何が起きているのか、どうすれば良いのか。これまで数々の課題に“部外者”の視点から切り込み、それまで不可能とされていた改革を実現してきた現役官僚が、取り組むべき政策とその先にある社会の姿を描く。

2018.6./ 221p  
978-4-336-06278-9  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/08/26



### 終わらない「失われた 20 年」～嗤う日本の「ナショナリズム」・その後～(筑摩選書 0161)

北田 暁大 著  
筑摩書房

ネトウヨの世界観・政治が主流となった現代日本。「脱成長」「移民受け入れ否定」を説き、緊縮財政をよしとする左派知識人…。日本型ニューディールの立ち上げ、ソーシャル・リベラリズムの起動のための視角を提示する。

2018.6./ 334p  
978-4-480-01669-0  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/08/26



### 映画がつなぐ中国と日本～日中映画人インタビュー～

劉 文兵 著  
東方書店

100 年にのぼる日中映画交流の歴史をチェン・カイコーら数世代にわたる中国の映画人や日本の関係者へのインタビューを通じて明らかにする。また日中合作映画製作の最前線に注目して、新たな日中文化交流の可能性を探る。

2018.7./ 371p  
978-4-497-21815-5  
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/08/26



### リーマン・ショック～元財務官の回想録～

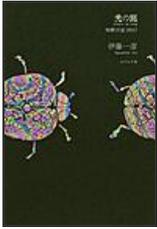
篠原 尚之 著  
毎日新聞出版

「100 年に 1 度の金融危機」から学ぶべき教訓とは。財務省で国際関係を統括する責任者であった著者は、如何に各国政府と協調し、世界規模の金融危機に対応したのか。主に為替政策を中心にその実体験を明かす。

2018.2./ 301p  
978-4-620-32501-9  
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/08/26



**光の庭(短歌日記 2017)**

伊藤 一彦 著  
ふらんす堂

母の無き初の正月これまでにまして母感じ酒を酌みやり 2017 年の 1 年間、歌人・伊藤一彦が詠んだ短歌を日付順に収録。『ふらんす堂ホームページ』に掲載したものを書籍化。

毎日新聞 2018/08/26

2018:6./ 382p  
978-4-7814-1067-8  
本体 ¥2,000+税



**新約聖書～本文の訳～**

田川 建三 著  
作品社

人類古代の貴重な文化遺産である「聖書」を、余計な粉飾なしに、ありのままの姿で伝える、画期的な日本語訳新約聖書。文中に小さい活字で註を挿入し、旧約の引用の出典も指摘する。携帯版も同時刊行。

毎日新聞 2018/08/26

2018:7./ 493p  
978-4-86182-708-2  
本体 ¥4,000+税



**ロシアと黒海・地中海世界～人と文化の交流史～**

松木 栄三 著  
風行社

中近世ロシア史の分野で長年研究を重ねて来た著者が学術誌等に執筆した論文・記事を、ロシアと地中海・黒海沿岸地域との交流という観点からまとめる。「ロシア=地中海関係史の一断面」「モスクワ国家の外交慣習」などを収録。

毎日新聞 2018/08/26

2018:6./ 6p,286p  
978-4-86258-121-1  
本体 ¥4,100+税

